JV3 S Series

取扱説明書

株式会社
ミマキエンジニアリング

D200727

ご注意

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。
また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
一例として、本製品を使用してメディア（ワーク）等の損失やメディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

★ 本書記載の名称は、一般に各社の商標または登録商標です。

電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置の接続に於いて、当社指定のケーブルを使用しない場合は、VCCIルールの限度を超えることが考えられます。必ず、当社指定のケーブルを使用してください。

テレビ／ラジオの受信障害について

本書が解説する製品は、使用時に高周波が発生します。このため、本製品が不適切な条件下で設置または使用された場合、ラジオやテレビの受信障害が発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。
もしも、この製品がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われましたら、この製品の電源を切ることによりご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されればこの製品が原因と考えられます。
もし障害の原因なら、次の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

はじめに

この度は、カラーインクジェットプリンター「JV3 シリーズ」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

「JV3 シリーズ」は、ソルベントインク６色で作図する高画質に対応したカラーインクジェットプリンターです。

本取扱説明書をよくお読みになり、本プリンターを安全に、かつ効果的にお使いいただけますようお願い申し上げます。

取扱説明書について

- 本書は、カラーインクジェットプリンター「JV3 シリーズ」（以後本装置と称します）の、操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。

本装置のご紹介

本装置の持つ特長をご紹介します。本書で説明する操作方法と併せて作図のご理解にお役立てください。

高信頼、高発色の新開発ソルベントインクを使用

新開発のソルベントインクの使用により、生ターポリン等の市販のメディアがそのまま使え、高画質、低ランニングコストを実現しました。
耐水性、耐候性に優れたインクです。（ラミネート不要で屋外耐候 3 年）

トゥルー 720dpi の高画質印字

720dpi の高画質で印刷することにより、大型ポスターの他、近くで見る小型のポスターにも最適です。

インテリジェントヒーター搭載

プリヒーター、プリントヒーター 2 カ所のヒーターを搭載し、独立して温度設定が可能です。
スタンバイモード、自動オフのインテリジェント機能を搭載。
周囲の温度を検知して温度を制御するため、使用するメディアに最適な加熱温度を設定できます。

簡単インク交換

インクのカートリッジ化により、手を汚さずに、安全、簡単にインク交換ができます。

簡単メンテナンス

ヘッドの自動キャッピング方式により、電源をオフする前のヘッド洗浄が不要です。
インク詰まりは、クリーニング機能を実行すれば復旧できます。
本装置を使用しないで放置すると、一定時間毎にインク詰まりを回避する動作を自動的に行います。ただし、主電源をオンにしておく必要があります。
使用していない時間を監視して、電源をオンにしたとき、および印刷開始時に自動クリーニングを実行し、インク詰まり等を防ぎます。

排気機構を標準装備

プリンターの前面と背面から、ダクトを通して排気する機構を標準装備しました。換気扇あるいは脱臭機にダクトを接続して、プリンターを使用している部屋に充満する臭い等を減少します。

インク残量を表示します

使用中のインクの残量を表示して確認できます。無駄なくインクやメディアを使用可能です。

見やすいディスプレイ

プリンターの設定メニューを表示する「ディスプレイ」が見やすい２行表示になりました。
バックライトも付いて、暗い場所での表示認識が可能になりました。
英語・スペイン語など６ヶ国の表示が可能です。

作図の情報を確認します

作図中のプリント長をディスプレイに表示したり、作図条件の情報を作図して確認できます。

高速インターフェースを使用できます

高速インターフェース「IEEE1394」の使用により、コンピュータからのデータ受信を高速に行えます。

巻き取り装置による長尺作図ができます

本装置と連動した「巻き取り装置」が作図終了したメディアを巻き取るので、長尺作図が可能です。

メディア置き用のサポートバーが付きました

本装置の後ろ側に、メディアセット時のサポートバーを設置しました。幅広のロールメディアなど重量のあるメディアのセット時に、サポートとしてご使用ください。

ヘッドの高さ２段階に対応

ヘッドの高さは、調整レバーにより 2mm/3mm の切り替えが可能です。

メディアの左右端の浮きを防止

カールストッパーを使用することにより、幅の広いメディアの両端の浮きあがりを防止し、ヘッドとの接触を防ぎます。

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例 1

本書の説明文の中によく使用しているマークです。

★「警告」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や中毒を起こす可能性を示しています。必ずよくお読みになり、ただしくお使いください。

★「注意」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。

● 関連した内容の参照ページを示しています。

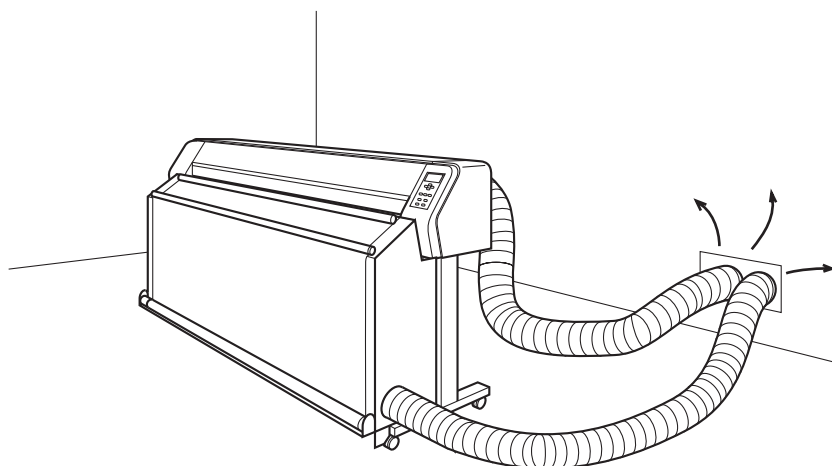
マーク表示の例２

△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 △中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が書かれています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が書かれています。

● 記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が書かれています。

警　告

換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ず換気装置を設けてください。

引火性

本装置で使用する専用インクは、危険物第４種第２石油類、または危険物第４類第３石油類に該当します。よって、引火する可能性があるため、本プリンターを使用する場所は、火気厳禁としてください。

インクステーションやヘッドをクリーニングする際は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。

誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないください。その後、毒物管理センターに連絡してください。

蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。

廃インクは、産業廃棄物の廃油に該当します。産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

警　告

プラテン

★ プラテンのヒーターにホコリやゴミ等が付着しないようにしてください。発火、火災の原因になります。

インクカートリッジの取り扱い

★ インクには、 有機溶剤を使用しております。皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗った後、水で十分に洗い流してください。
万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。

★ 必ず、専用のインクカートリッジをお使いください。

★ インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。

★ インクカートリッジのインクは、詰め替えないでください。
インクを詰め替えて使用して生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。

分解・改造はしない

★ 本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対にしないでください。
感電や故障の原因になります。

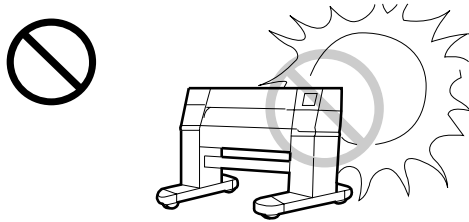
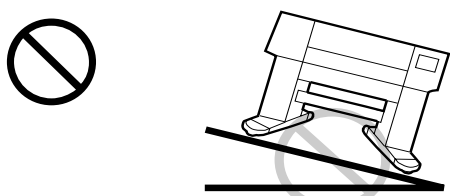
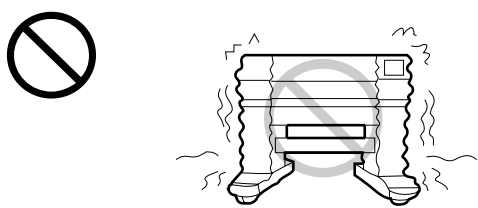
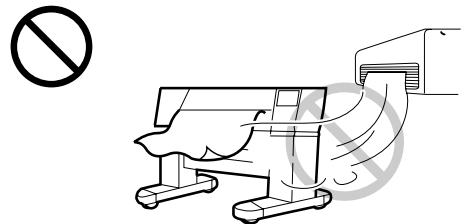
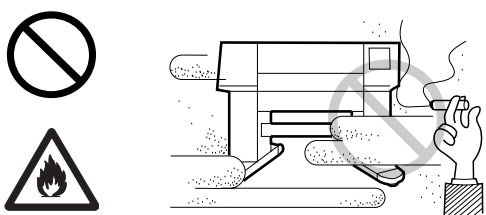
湿気の多い場所では使用しない

★ 湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。

異常事態の発生

★ 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源・電圧について

★ 表示された電源仕様で使用してください。本装置を使用する電源電圧にあわせて、電圧セレクタを切り替えてください。

110V 位置 →本装置 100 ～ 120V
220V 位置 →本装置 220 ～ 240V

また、電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理したコンセントに差し込んでください。
火災・感電の原因になります。

電源ケーブルの取り扱い

★ 付属の電源ケーブルを使用してください。

★ 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。
また、重い物をのせたり、加熱したり、ひっぱたりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。

設置場所の注意

注意
直射日光が当たる場所
水平でない場所
温度や湿度の変化が激しい場所
次の環境下でお使いください。
使用環境　：20 ～ 35 ℃
35 ～ 65 % (Rh)
振動が発生する場所
エアコンなどの風が直接当たる場所
火を使う場所

使用上のご注意

注意

ヒーターに注意

★ プラテン上に液体をかけないでください。ヒーターの故障や発火の原因になります。

★ プラテンのヒーターが熱いうちに素手で触らないください。火傷の原因になります。

★ 本装置を移動する場合は、ヒーターの温度が十分下がった状態で行ってください。
目安として、ヒーターの電源をOFF にしてから 30 分以上お待ちください。
なお、本装置の移動は、段差のない同一フロアー内とします。
移設の場合は、弊社営業所、または販売店にご連絡ください。

専用インクをお使いください

★ JV3 専用のインク以外は使用しないでください。JV3 専用インク以外のインクでは、装置保護のため、動作しません。

★ JV3 専用のインクは、他のプリンターで使用しないでください。プリンターが壊れます。

定期交換部品があります。

★ 本装置には、定期的に交換する部品があります。保守契約が必要となります。

電源供給について

★ ブレーカーは常時 ON にしておいてください。

★ 背面にある主電源スイッチはOFF にしないでください。

ホコリから守る

★ できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを 2 または 3 に設定してください。
☞ P.4-8

★ 作図しないときも必ずフロントカバーは閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。

★ 夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。

★ メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になってします。

★ キャッピングステーション、およびワイパの拭き掃除（ホコリ、紙粉）は、こまめに行ってください。

★ 作図中に、突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちるのもホコリが原因です。この場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。
☞ P.2-23, 4-10

フロントカバーとレバーについて

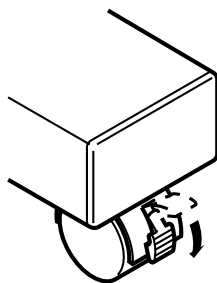
★ 作図中にフロントカバーを開けたり、レバーを上げたりしないでください。作図が終了してしまいます。

⚠注意

メディアについて

★ カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。
カールがきついと、画質に影響を及ぼします。

キャスタのロック

★ 必ず、キャスタをロックしてから作図してください。
ロックをしないで作図すると、装置が動きだす場合があります。

インクカートリッジについて

★ カートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上室温環境下に放置してから使用してください。

★ カートリッジは、取付直前に開封してください。
開封した状態で長時間放置しておくと、正常に作図できない場合があります。

★ カートリッジは、冷暗所で保存してください。

★ カートリッジは、開封してから3カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、作図品質が低下します。

★ 専用インク以外は使用できません。

★ カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。

★ インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。

★ インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。

警告ラベルについて

★ 本装置には、2種類の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店、または弊社営業所にてお買い求めください。

目次

1章　ご使用の前に

2章　作業の流れ

3章　日常のお手入れ

4章　設定機能について

5章　メンテナンス機能

6章　困ったときは

付録

索引

本書の読み方

ディスプレイとキーの表記

本取扱説明書では、操作手順と合わせて操作パネルの「ディスプレイ」に表示する文字や、使用するキーを説明しています。 ☞ P.1-6
使用中に確認しながら、操作を進めてください。

ディスプレイ表記

ディスプレイの表記は、右の図の様に四角い枠の中に、表示する内容を文字表記します。
操作手順の説明文に合わせて、確認しながら操作を進めます。
ディスプレイに表示する設定項目やメッセージを、文章中では[タイプ1]、[シバラク　オマチクダサイ]の様に[　　]を使用して説明しています。

```
FUNCTION
セッテイ          ＜ＥＮＴ＞
```

```
セッテイ
センタク            ：タイプ゜
```

操作キー

本取扱説明書では、操作キーを文章中で【カッコ】を使用して説明しています。

【▲】【▼】はジョグキーを意味します。
その他の操作キーは、【FUNCTION】の様に操作キーの名称を【　　】の中に表記します。
☞ P.1-6

本書の構成

本書は、７つの章に分けて本装置の取り扱いの説明をしています。

はじめに

本装置をご使用になる前に、ご理解していただきたいことや、本書の読み方を説明しています。

１章　ご使用の前に

本装置の各部の名称とはたらき、インクやメディアについて説明します。

２章　作業の流れ

電源の ON から印刷を終了するまでの一連の動作、設定について説明します。

３章　日常のお手入れ

インクが詰まった際の復旧方法や各部の清掃方法について説明します。

４章　設定機能について

設定機能について説明します。

５章　メンテナンス機能

メンテナンス機能、ワイパやカッター刃などの消耗品の交換方法などについて説明します。

６章　困ったときは

本装置になんらかの異常が発生した場合のトラブルの解消方法について説明します。

付録

本装置の仕様、お問い合わせシート、機能フローチャートをのせています。

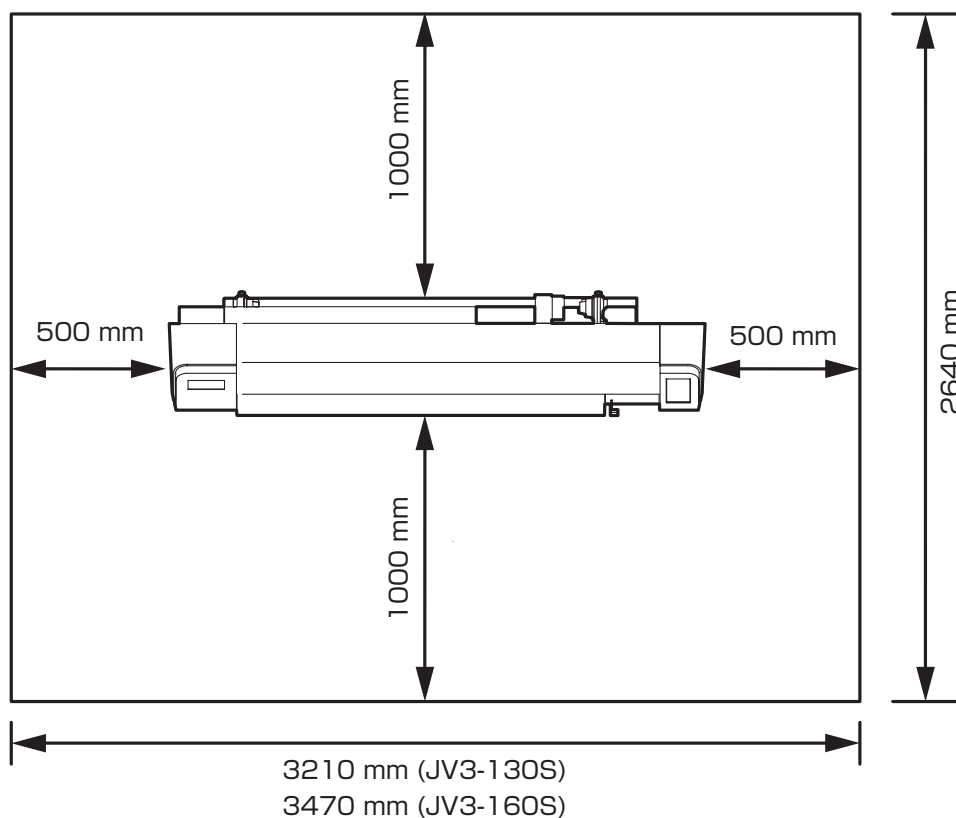
1章
ご使用の前に

本装置の各部の名称、メディアやインクについて説明します。

本章の内容

設置場所について

本装置を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
本体の大きさと作図のために必要なスペースを考慮して設置します。

機種	横幅	縦幅	高さ	全体重量
JV3-130S	2210 mm	640 mm	1210 mm	145 kg 以上
JV3-160S	2470 mm	640 mm	1210 mm	155 kg 以上

使用環境温度

本装置は安定したプリントを行うために、20 ～ 35℃の環境でご使用ください。
周囲の温度条件により、ヒーター温度が設定値まで上昇しない場合があります。

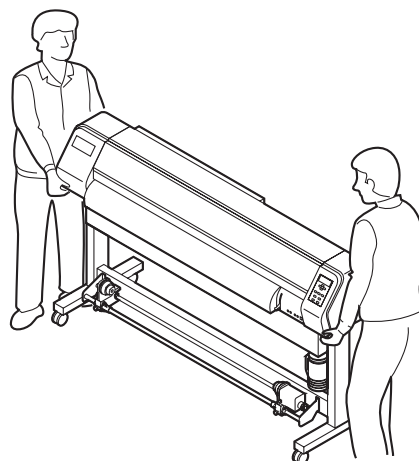
本装置の移動

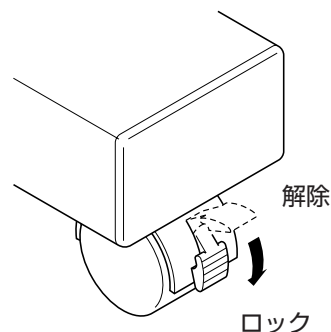
★ 本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。
お客様が本装置の移設を行うと、故障や破損の原因になることがあります。
本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

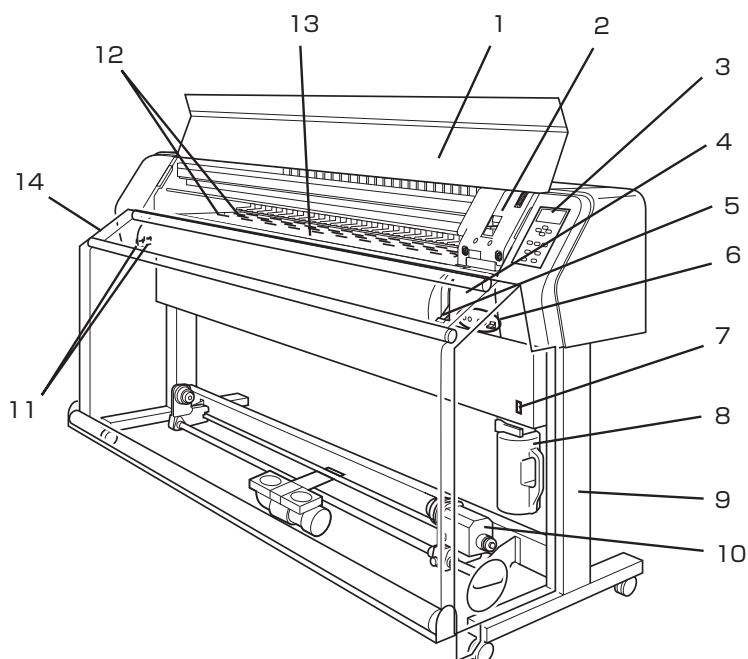
本装置をやむを得ず、段差のない同一フロアー内で移動する場合は、下記のよう行ってください。
移動するときは、キャスタのロックを解除してください。

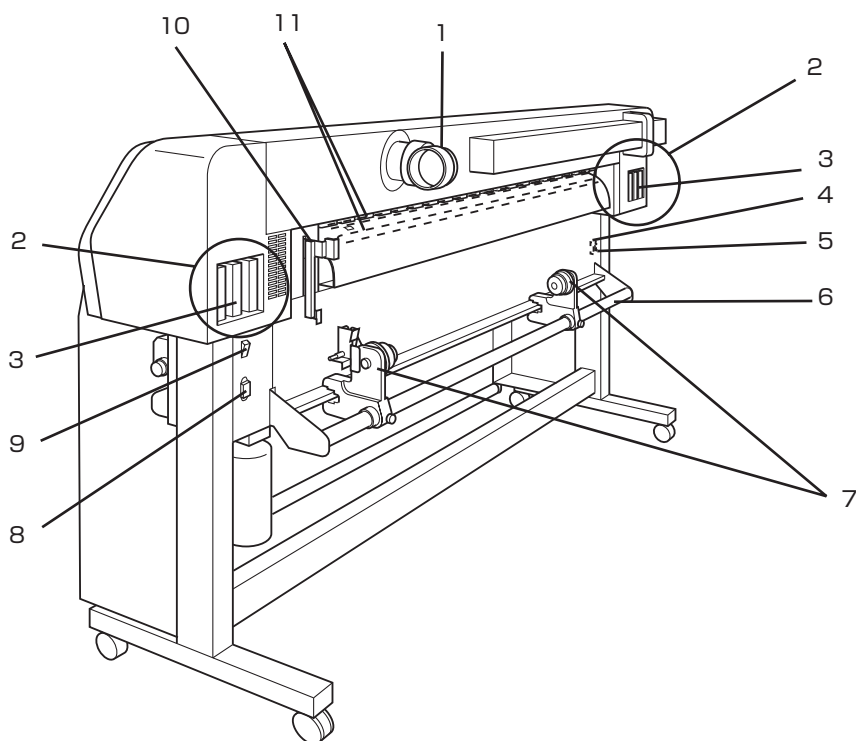
★ 移動する時は、大きな振動を与えないでください。
★ 移動後は、必ずキャスタをロックしてください。

移動方法

本装置を移動するときは、２人以上で図のように運んでください。
カバーを押すと割れる場合があります。

キャスタのロック

装置を移動するときは、ストッパを上げてロックを解除してください。
脚のキャスタには、ストッパが付いています。
本装置を設置するときは、ストッパを下げてキャスタをロックします。

各部の名称とはたらき

装置前面

	名　称	はたらき
1	フロントカバー	メディアのセット、メディア詰まりの処置およびステーション内部のメンテナンス時に開けます。電源スイッチがオフの場合でも、フロントカバーは閉じておいてください。インク詰まり防止のための動作を行います。
2	キャリッジ	印字を行うヘッドがあり、左右にスキャンします。
3	操作パネル	本装置に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。
4	キャッピングステーション	ヘッドにキャッピングするキャップやワイパ等があります。
5	クランプレバー（前）	ピンチローラを上下して、メディアを保持 / 解放します。
6	ヒーター操作パネル	ヒーターの電源スイッチとヒーターのコンディションを示す LED ランプがあります。
7	電源スイッチ	本装置の電源をオン / オフします。電源スイッチをオンにすると操作パネル上の POWER ランプが緑色に点灯します。主電源スイッチをオンにしていれば、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。（フラッシング機能）
8	廃インクタンク	廃インクを溜めるタンクです。
9	脚	本体を支える部分です。本装置を移動するためのキャスタが付いています。
10	巻き取り装置	作図終了後のロールメディアを自動で巻き取ります。
11	電圧セレクタスイッチ(2 個)	本装置を使用する電源電圧に合わせて、100 ～ 120V と 220 ～ 240V を切り替えます。
12	プラテン	プラテンに沿って、用紙を出力します。 プラテン内の 2 カ所にヒーターが内蔵されています。
13	プリントヒーター	印字中のインクの定着と乾燥を行います。（プラテンの内側にあります。）
14	フロント排気ユニット	作図後のメディアから発生する臭気等を屋外に排気します。

装置背面

	名　称	はたらき
1	リア排気ダクト	作図中の臭気等を屋外へ排気します。
2	インクステーション	専用のインクカートリッジをセットします。
3	インクカートリッジ	各色のインクが入っています。
4	パラレルコネクタ	双方向パラレルインターフェースコネクタです。(IEEE1284 準拠)
5	IEEE1394 コネクタ	400Mbps の IEEE1394 に準拠したインターフェースです。
6	メディア置きバー	ロール紙を取り付けるときに、ロール紙をのせてセットしやすくするためのバーです。
7	ロールホルダー	ロール紙の紙管の左右に入れて、ロール紙を保持します。 2 インチと 3 インチの紙管に対応しています。ロールホルダーの取り付け位置を 3 段階に変更できます。メディアにプリヒーターの予熱を長くかける場合は、一番下の位置に取り付けてください。 P.2-8
8	AC インレット	電源ケーブルを接続します。
9	主電源スイッチ	本装置の主電源をオン / オフします。インク詰まり防止のため、常に主電源はオンにしてください。
10	クランプレバー(後)	本装置前面にあるクランプレバーと連動しています。
11	プリヒーター	プリント前のメディアに予熱をかけます。(プラテンの内側にあります。)

操作パネル

操作パネルは、作画方法の設定、各種操作に使用します。

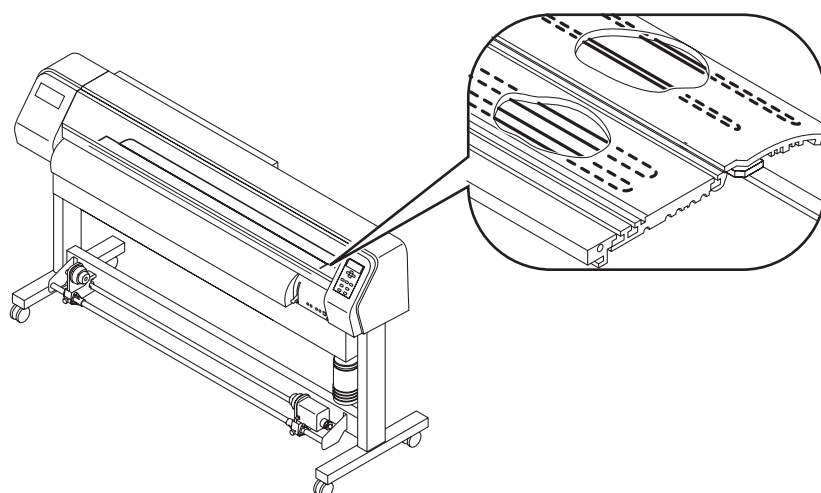
ジョグキーのはたらき

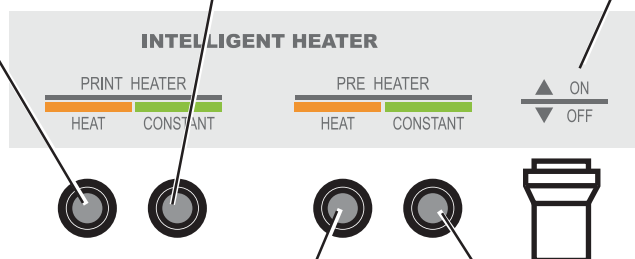
ジョグキーは、使用するタイミングにより機能が異なります。

	メディア検出前	メディア検出後	機能選択時	設定の選択時
◀	メディア幅を検出します。	キャリッジを左へ移動します。		
▶	メディア幅とメディア長を検出します。	キャリッジを右へ移動します。		
▲		メディアを奥へ移動します。	１つ前の機能に戻ります。	１つ前の値を選択します。
▼		メディアを手前に移動します。	次の機能に移ります。	次の値を選択します。

ヒーターパネル

プラテンには、プリントヒーターとプリヒーターが内蔵されています。
ヒーターの電源オフ / オン、および各ヒーターの状態を LED ランプで表示します。
本装置の電源スイッチをオフにすると、ヒーターの電源もオフになります。

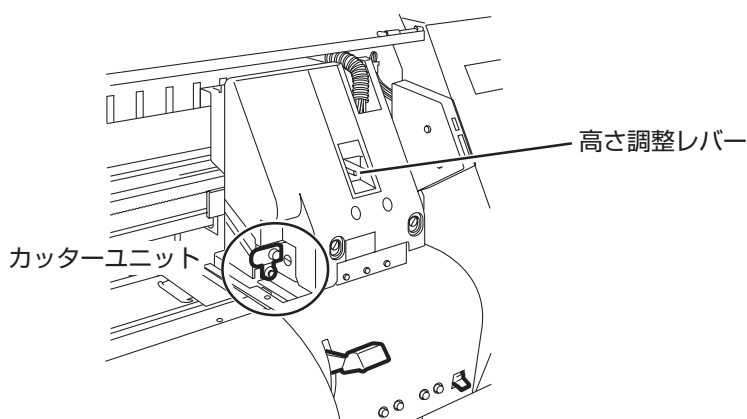
ヒーター用の電源スイッチ
ヒーターの電源をオン / オフします。

HEAT ランプ
プリントヒーターの加熱中は、オレンジ色に点灯します。

CONSTANT ランプ
プリントヒーターの温度が設定値まで達すると緑色に点灯します。

HEAT ランプ
プリヒーターの加熱中は、オレンジ色に点灯します。

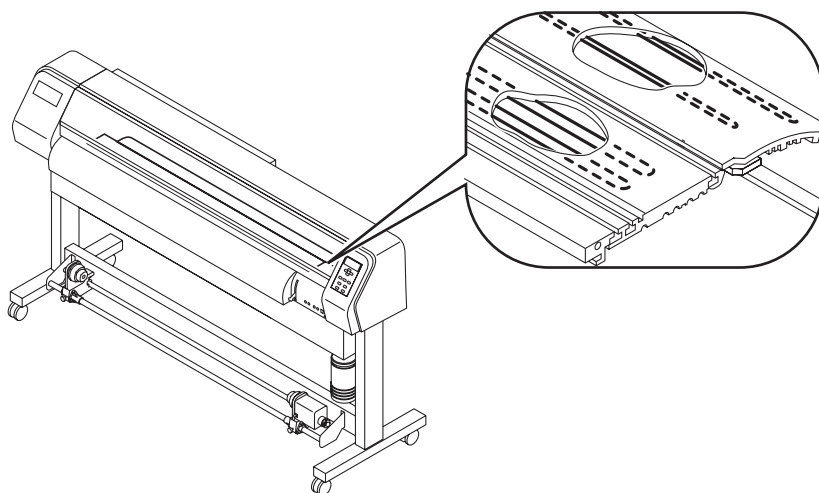
CONSTANT ランプ
プリヒーターの温度が設定値まで達すると緑色に点灯します。

- CONSTANT ランプ点灯中に HEAT ランプが消灯することがあります。これはヒーターの温度が設定温度に達したため、加熱を中断しているためです。異常ではありません。

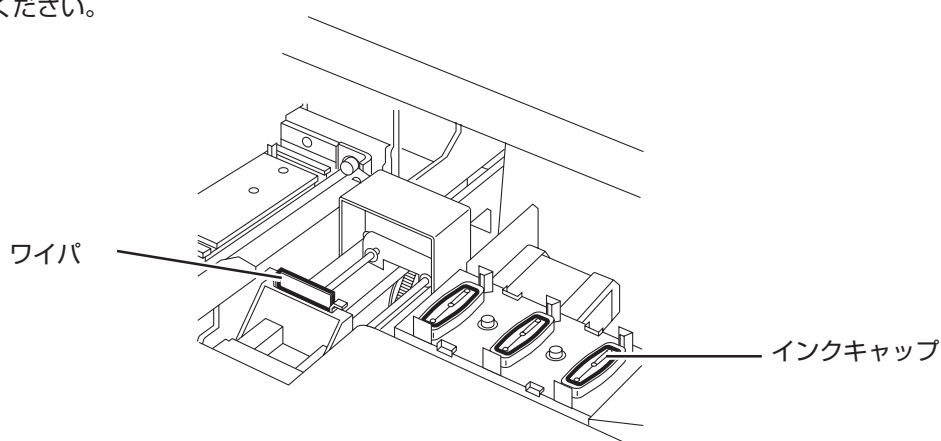
キャリッジ

キャリッジには、作図用のインクヘッドや、メディアカット用のカッターユニットなどが付いています。
また、メディアの厚さに合わせて、ヘッドの高さを 2 段階に調整するレバーが付いています。

ヒーター

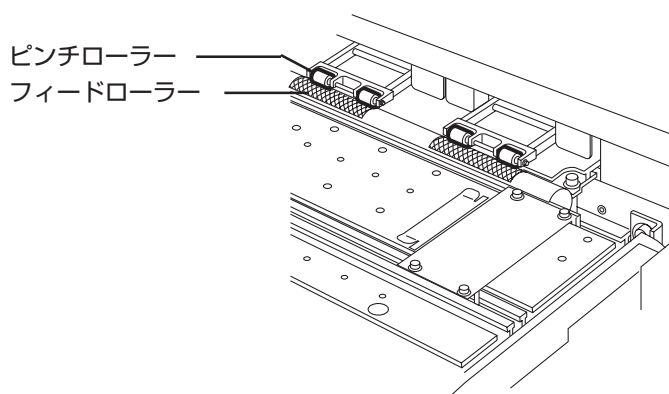
プラテンにはプリントヒーターとプリヒーターが内蔵されています。
プリヒーターは、印字前のメディアを予熱し、プリント部での急激な温度変化を抑えます。
プリントヒーターは、印字する際の画像品質を上げ、印刷後のインクを乾燥させます。

★ ヒーターの加熱中は、プラテンが高温になっています。フロントカバーを開ける際やメディアを交換する際は、ヒーターの温度を下げ、プラテンの温度が十分下がってから行ってください。火傷の原因になります。
★ 薄手のメディアに交換する際は、ヒーターの温度を下げてプラテンの温度が十分下がってから行ってください。プラテンが高温の状態で行うと、メディアがプラテンに貼り付いたり、シワやカールの原因になります。

キャッピングステーション

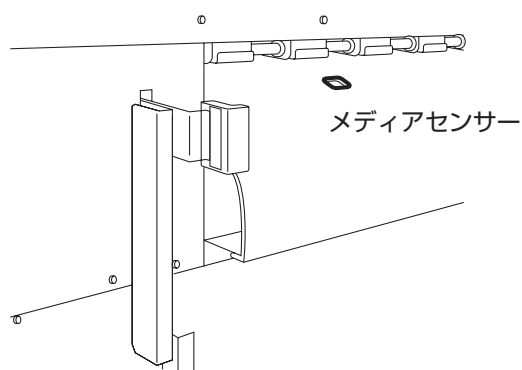
★ キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属のゴーグルを着用してください。目にインクが入る危険があります。

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成されています。
インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。
ワイパは、ヘッドのクリーニングに使用します。
ワイパは、消耗品です。ワイパが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパに交換してください。

ピンチローラーとフィードローラー

★ 本装置を使わない時は、ピンチローラーを上げた状態にしておいてください。
ピンチローラーを下げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラが変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合があります。

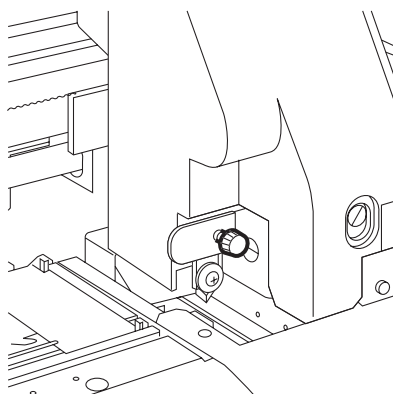
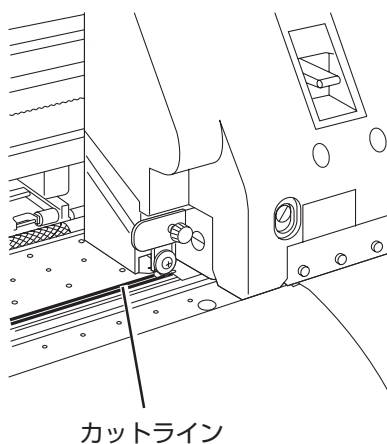
本装置は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメディアを保持し、作図時にメディアを前側に送り出します。

メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長を検出します。
プラテン上にメディアセンサーが 1 箇所あります。

★ メディアは、必ずプラテン後部側のメディアセンサーを覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。

カッター刃とカットライン

キャリッジにはメディアをカットするカッターユニットが付いています。
プラテンのカットラインに沿ってメディアをカットします。

P.2-29 手動裁断、P.4-7 自動裁断

カッター刃

カットライン

インクの取り扱い上のご注意

★ インクには有機溶剤を使用しております。皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗った後、水で十分に洗い流してください。
万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で 15 分 以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。

★ インクカートリッジは分解しないでください。

★ インクカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、カートリッジからインクがもれることがあります。

★ インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。

★ 本装置には専用のインクカートリッジをお使い下さい。本装置は、専用のインクカートリッジを認識して動作します。インクカートリッジ等の改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。

★ インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、 3 時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。

★ インクカートリッジは開封してから３カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは作図品質が低下します。

★ インクカートリッジは冷暗所で保存してください。

★ インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。

★ 空になったインクカートリッジは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。

★ インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。

メディアについて

メディアの取り扱い注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。

★ 推奨メディアをお使いください
安定した高画質で作図するには、弊社推奨のメディアをお使いください。

★ メディアの特性に合わせたヒーター温度設定
メディアの種類や特性に合わせて、プリヒーターおよびプリントヒーターの温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから 指定する方法があります。

★ メディアの伸縮
包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。
室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。
包装を開けて、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。

★ カールしたメディア
カールしたメディアは使用しないでください。紙詰まりの原因になります。
コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。

使用可能メディア

使用可能メディアは、ロールとリーフです。
本装置で使用可能なメディアの種類とサイズを説明します。

推奨メディアの種類

ターポリン
FF(Flexibile Face)
耐候塩ビシート

使用可能メディアサイズ

使用可能メディアサイズは、JV3 の機種により異なります。
ご使用の機種について参照してください。

		JV3-130S	JV3-160S
ロール	最大幅	1371 mm	1620 mm
	最小幅	210 mm	
	最大作図範囲＊1	1361 mm	1610 mm
	厚さ	1.0 mm 以下	
	ロール外形	φ 180 mm 以下	
	ロール重量	25 kg 以下 ただしロールの左右を保持した時、ロールにタワミがないこと	
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ	
	作図面	ロール外側面	
	巻終わり処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着	
リーフ	最大幅	1371 mm	1620 mm
	最小幅	210 mm	
	最大作図範囲＊1	1361 mm	1610 mm

＊1　ただし、高速スキャンモードでは、最大作図範囲が短くなります。
JV3-130S　:　1321 mm　　JV3-160S　:　1570 mm

モードについて

本装置には、次の 4 つのモードがあります。
各モードについて説明します。

ノットレディモード

メディア検出する前のモードです。【REMOTE】キー以外のキーが有効です。

ローカルモード

メディア検出後のモードです。
全てのキーが有効です。
コンピュータからのデータを受信できます。ただし、作図は行いません。
ローカルモードでは以下の操作が可能です。

1. ジョグキーを押してメディア検出や原点を設定します。
2. 【TEST & CLEANING】キーを押してテスト作図とヘッドクリーングを行います。
3. 【DATA CLEAR】キーを押して、受信した作図データを消去します。
4. 【FUNCTION】キーを押して、各種機能を設定します。
5. 【HEATER】キーを押して、ヒーターの温度を設定します。

リモートモード

受信したデータを作図します。
作図中に、【REMOTE】キーを押すと一時停止します。

ファンクションモード

ローカルモード時に、【FUNCTION】キーを押すとファンクションモードになります。各ファンクション機能の設定を行います。

2章
作業の流れ

作図を行うために必要な操作、および設定方法について説明します。

本章の内容

作業の流れ

電源のオンから印刷が終了するまでの作業の流れです。
各項目の詳細説明は、参照ページをご覧ください。

電源スイッチをオン ☞ P. 2-3

⇩

ヘッド高さの確認 ☞ P. 2-6

⇩

メディアをセット ☞ P. 2-8

⇩

ヒーターの電源をオン ☞ P. 2-20
温度の設定

⇩

テスト作図の実行 ☞ P. 2-23

⇩

メディア補正の調整 ☞ P. 2-25

⇩

作図開始 ☞ P. 2-28

⇩

電源スイッチをオフ ☞ P. 2-32

電源をオンにする

本装置には、２つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチ　：本装置の背面にあります。通常はオンにしておきます。主電源をオフにしたまま放置すると、ヘッドのノズルが目詰まりを起こす原因になります。症状によっては、復旧が困難になる場合があります。

注 意

★ 電源スイッチがオフの状態で、主電源スイッチをオンにした時、ノズル詰まり防止機能が動作することがあります。動作終了後、自動的に電源が切れます。

電源スイッチ　：本装置の前面にあります。通常はこのスイッチを使用してください。
１回押すと本装置の電源がオンになります。もう一度押すと、電源がオフになります。電源スイッチがオフになっていても、定期的に電源がオンになりノズル詰まり防止機能が動作します。

① 本装置の電源を入れます。
本装置前面にある電源スイッチを１回押します。

★ フロントカバーが閉じていることを確認してください。
フロントカバーが開いていると初期動作を行いません。

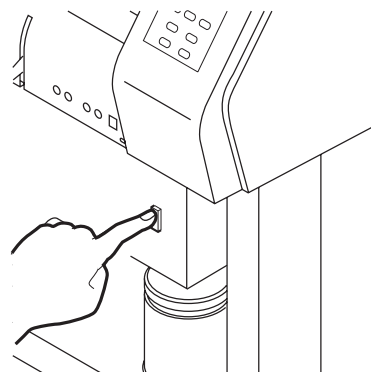
電源をオンにすると[BOOT]を表示し、続けてファームウェアのバージョンを表示します。

② [シバラク　オマチクダサイ]の表示を点滅します。
初期動作を実行します。

③ ローカルモードになります。

<ローカル>

すでにメディアをセットしてある場合は、メディア選択の表示をします。

④ 接続してあるコンピュータの電源をオンにします。

フロントカバーについて

フロントカバーの開閉について

★ 作図中にフロントカバーを開けないでください。作図中にフロントカバーを開けると、画像の作図が中断され、継続できなくなります。

★ フロントカバーは、取っ手を持って開閉してください。樹脂面を持って開閉すると破損の原因になります。

作図中にフロントカバーを開けると、安全のためキャリッジが停止し、本装置の作図動作が止まります。
この場合、次の操作手順で本装置、およびコンピュータを再起動してください。

① 作図中にフロントカバーを開けると､メッセージを表示します。
作図を停止します。

カバ゛ーヲ　シメテクダ゛サイ

② コンピュータからのデータ送信を停止します。

③ フロントカバーを閉めます。

（　COVER　OPEN　）
<ENT>ヲ　オシテクダ゛サイ

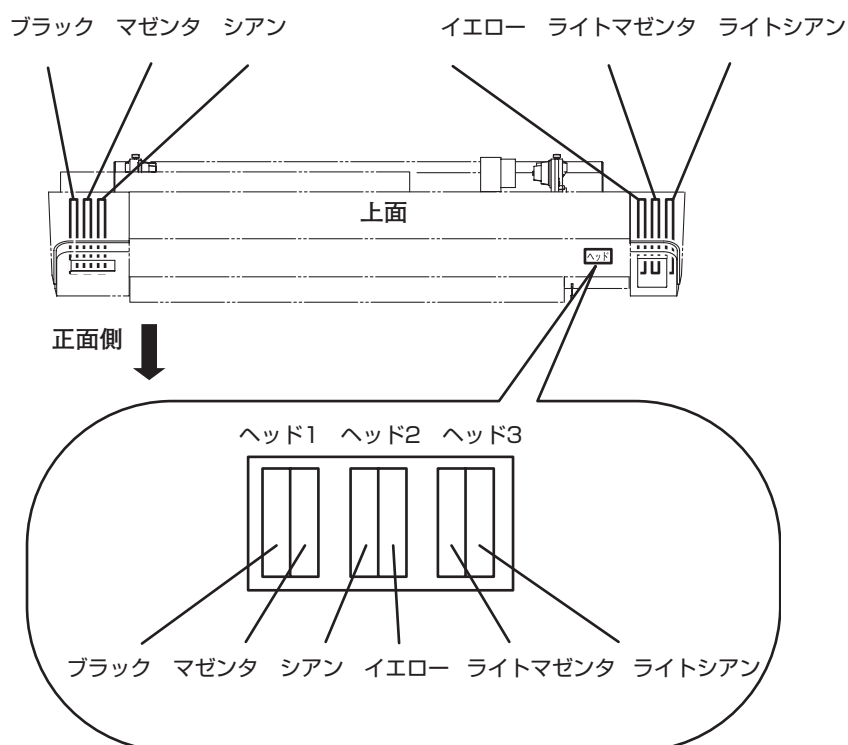
④【ENTER】キーを 1 回押します。

ENTER

ショキカチュウ
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ

⑤ キャリッジが動き始めます。
本装置の電源をオンにした時と同じ初期動作をします。 P.2-3

インクステーションとヘッドの関係

キャリッジには、３つのヘッドを搭載しています。
１つのヘッドには、２列のノズルを配置しています。１列のノズルに対して１色のインクが対応しています。
ヘッドのノズル詰まりのチェックや、インクエンドとなったカートリッジの交換、インクを充填する場合の対応関係にご使用ください。

2
作業の流れ

ヘッドの高さを調整する

使用するメディアの厚みに応じて、ヘッドの高さを上下２段階に調整できます。
紙やフィルム等の薄物から、0.5 mm 厚のターポリンなどの素材にまで作図できます。

★ メディアをセットする前に、ヘッドの高さを調整してください。
ヘッドの高さが「薄い」にセットしてある場合、厚いメディアをセットしてから高さ調整をすると、ジャムやヘッドを破損する原因になります。

★ 高さ調整レバーは、上か下のどちらかに確実にセットしてください。
ヘッドの高さを調整しないで厚いメディアを使用すると、作図品質が悪くなるばかりでなく、ヘッドが故障する場合があります。

★ 作図方向を[ソウホウコウ]に設定して使用する場合は、ヘッドの高さを調整した後に、メンテナンス機能の[ドットイチホセイ]を行ってください。P.5-9

★ 調整したヘッド高さに合わせて設定機能の[ヘッドタカサ]（タカイ / ヒクイ）を設定してください。P.4-10

メディア	高さ調整レバー
光沢塩ビ	**Thin　薄い**
ターポリン FF	**Thick　厚い**

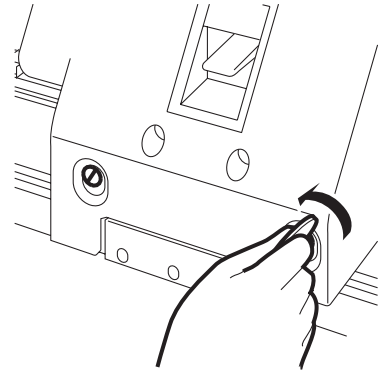
★ メディアの材質により、ヘッドにホコリが付着しやすい場合や、インクこすれが発生する場合、レバーを「厚い(Thick)」にセットします。

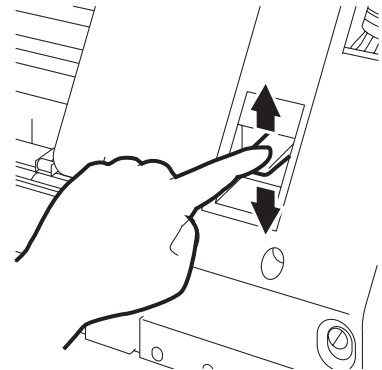
操作手順

① キャリッジをプラテン上に移動します。

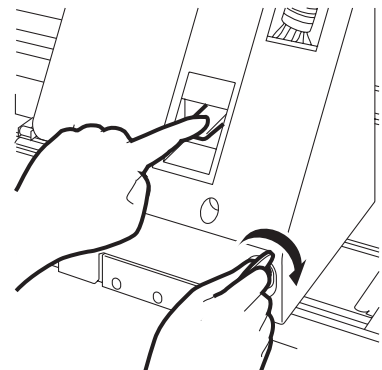
電源 ON 時： メンテナンス機能の「ステーションメンテ - キャリッジアウト」を実行します。 P.5-4

電源 OFF 時： 正面カバーを開けて、手でキャリッジを動かします。

② ヘッド正面にある 2 ヶのネジをコイン等で 1 回転程度、緩めます。

③ 高さ調整レバーをメディアに応じて調整します。

★ 高さ調整レバーは、必ず上か下に設定してください。中間に設定すると、作図異常をおこします。

④ 高さ調整レバーを押さえたまま、2ヶのネジを締めます。

★ 高さ調整レバーを押さえないでネジを締めると、正常な位置にヘッドを固定できません。

★ ネジは緩まないように確実に締めてください。

⑤ キャリッジをステーションに戻します。

メディアのセット

本装置では、ロールメディアとリーフメディアが使用できます。
メディアは、弊社推奨のメディアをお使いください。

★ 透明なメディアをセットすると、ディスプレイに次のメッセージを表示し、メディアを検出できない場合があります。

```
ERROR 50
メテ゛ィアケンシュツ
```

★ メディアに直射日光が当たっていると、正しくメディア幅を検出できない場合があります。

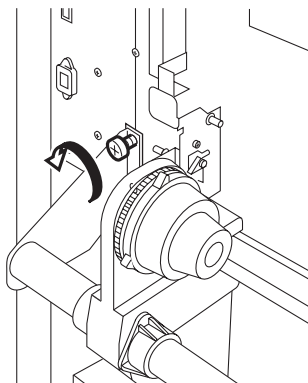
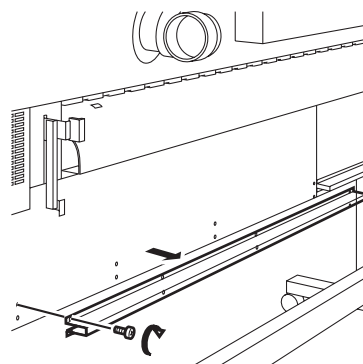
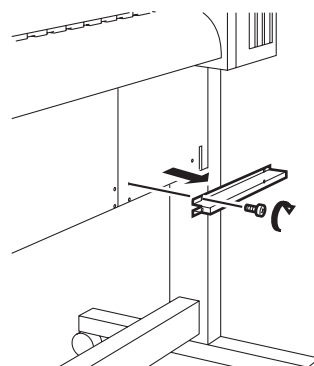
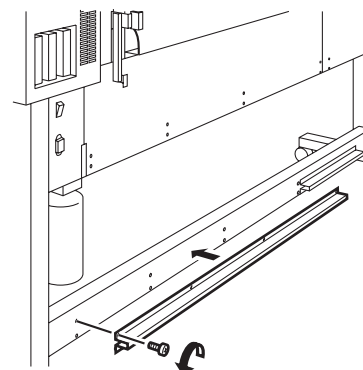
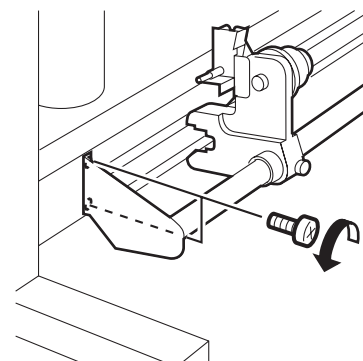
★ 作図済みのメディアは使用しないでください。インクがピンチローラーに付着し、メディアが汚れたり、メディア検出できない場合があります。

★ カールがきついメディアや内巻きのメディアは、メディアがプラテンに沿うように巻きくせをなおしてからご使用ください。

ロールホルダーの取り付け

★ ロールホルダーの取り付けは、 2 人で行ってください。

ロールホルダーは、 3 段階の高さに取り付け位置を設定できます。
メディアによって、ヒーターに接している時間を短くするか長くするかによって、ロールホルダーの取り付け位置を変更します。
ヒーターに接している時間を短くするためには、ロールホルダーを一番上の位置に取り付けてください。
ヒーターに接している時間を長くするためには、ロールホルダーを一番下の位置に取り付けてください。
一番上と一番下の位置に取り付けた場合は、メディアをセットする際にロックピンを使用する必要があります。 ☞ P.2-15

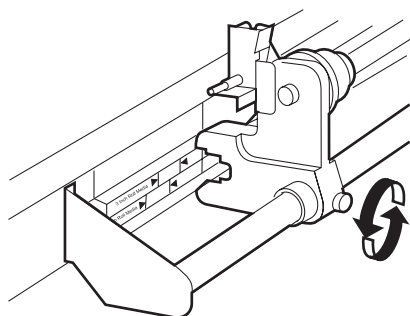
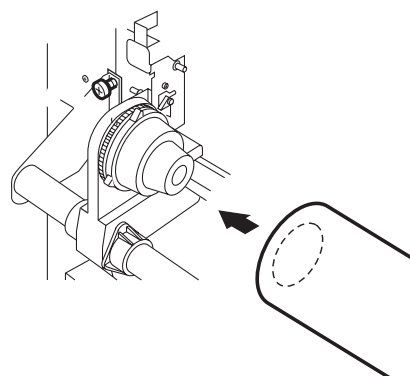
① ロールブラケットのネジ（左右 2 個づつ）を外し、ロール Assy を外します。

② 8個のネジを外し、ロールガイドレール（ロング）を外します。

③ 4個のネジを外し、ロールガイドレール（ショート）を外します。

④ 外したときと逆の手順で別の位置に、ロールガイドレール（ショート、ロング）を取り付けます。

⑤ ロールAssyを取り付けます。
ロールベースの先端のコの字部分が、ロールガイドレールにはまるように取り付けてください。

ロールメディアのセット

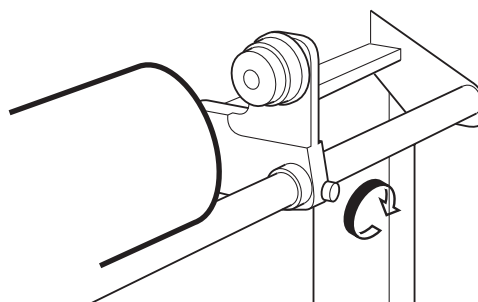
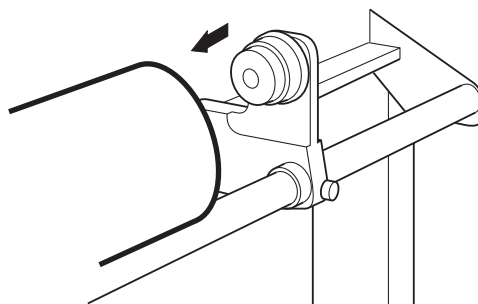
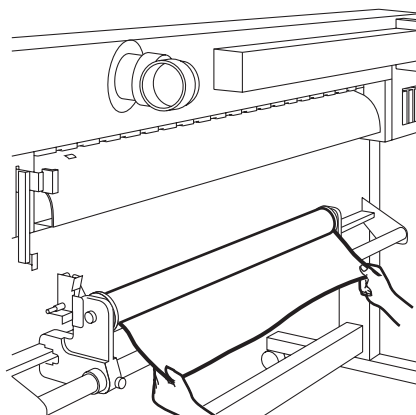
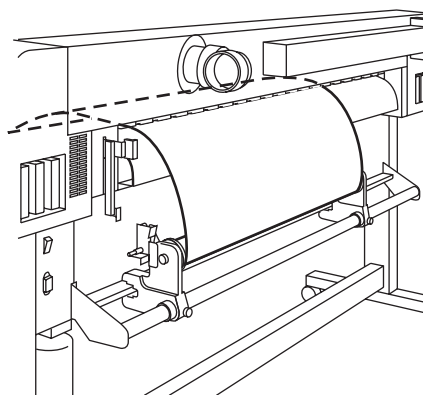
本装置にロールメディアを取り付けます。

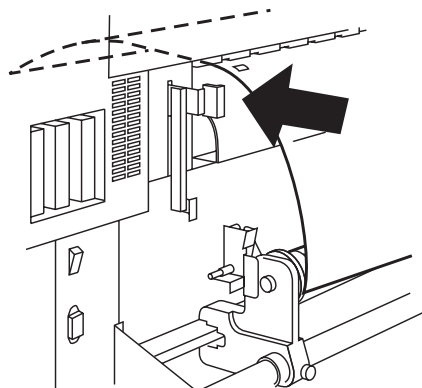
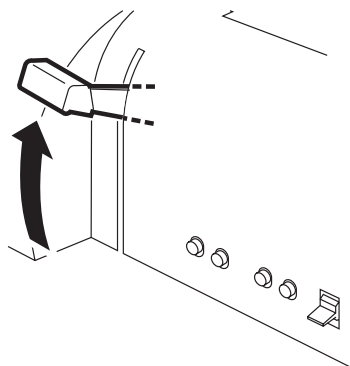
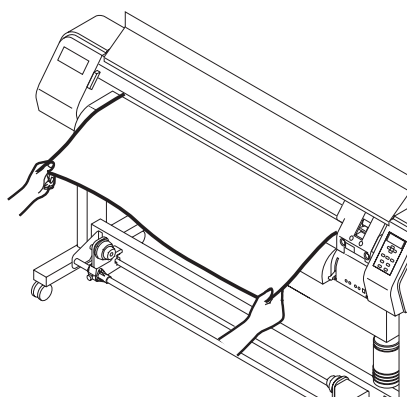
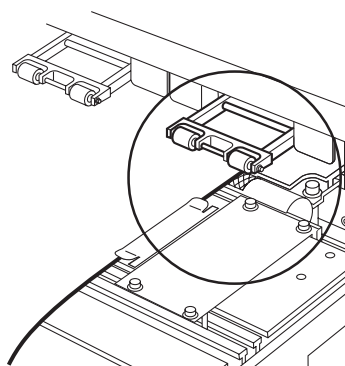
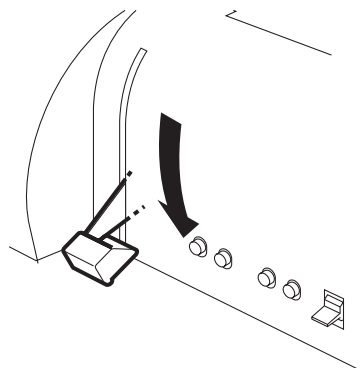
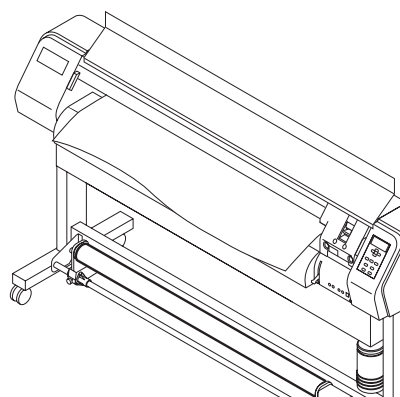
★ ロール紙は重いので、足などに落とさないように注意してください。

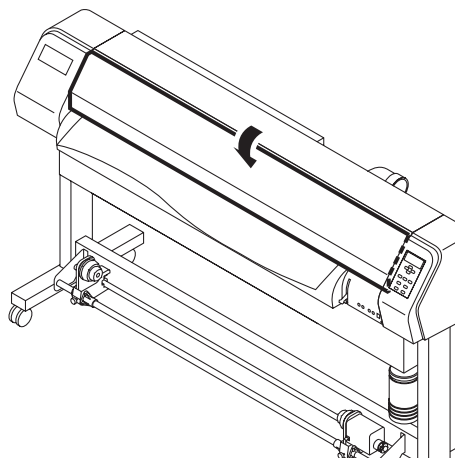
① 本装置背面のクランプレバーを引き上げます。
ロールホルダーを一番上または一番下に取り付けた場合は、ロックピンを使用する必要があります。
P.2-15

② 左側のホルダー手前のネジを緩めます。

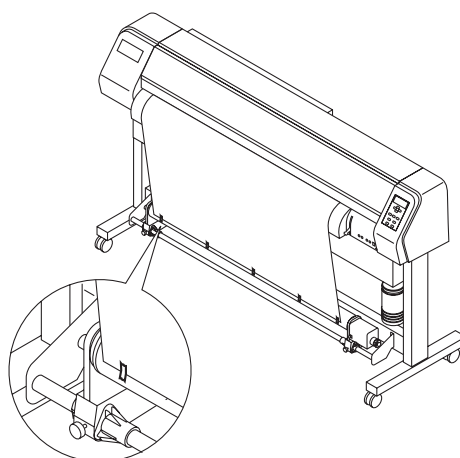
③ ロールホルダーの位置を決めます。
ロールメディアの紙管の内径は、2インチと3インチの2種類の大きさがあります。
ロールホルダーを「Roll holder set」シールの表示に合わせ、ネジを締めます。

④ 左側のホルダーにロールメディアの紙管を差し込みます。
ロールメディアの紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。

⑤ 右側のロールホルダーのネジを緩めます。
ロールメディアの幅に合わせて、ロールホルダーの位置を調整します。

● ロールメディアをメディア置きバーの上に置きながらセットすると、メディアの扱いが容易になります。

⑥ ロールメディアの紙管に、右側のロールホルダーを入れます。
紙管の奥までロールホルダーを差し込んだら、ネジで固定します。

⑦ ロールメディアを本装置の背面から、プラテンの先端まで届く長さまで引き出します。

⑧ 引き出したロールメディアをプラテンとピンチローラーの間に差し込み、メディアを本装置の前面に引き出します。

⑨ 後ろのクランプレバーを押します。

前面のクランプレバーが下がり、メディアを保持します。（仮セットします。）

⑩ フロントカバーを開けて、本装置の前面のクランプレバーを引き上げます。

⑪ ロールメディアを静かに引き出し、軽くロックがかかる位置で止めます。

★ メディアを使用する場合、右端のピンチローラーより右側にメディアが出ないようにセットしてください。

⑫ ロールメディアの左右の先端を均等に引っ張り、クランプレバーを下げます。
ロールホルダーが、一番上または一番下に取り付けてある場合は、ロックピンを使用します。
P.2-15

⑬ 巻き取り装置に空の紙管をセットします。

⑭ フロントカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。メディア幅を検出します。

ジョグキー【▼】を押して、メディアを巻き取り装置の紙管の位置までフィードします。

⑬ メディアを空の紙管に粘着テープで固定します。

● ロールホルダーからプラテンに入るまでの間のロール紙に、不均一なテンションによるタワミ、シワが無いかを確認します。
ロールメディアを左右均等に引っ張った状態で、クランプしてください。

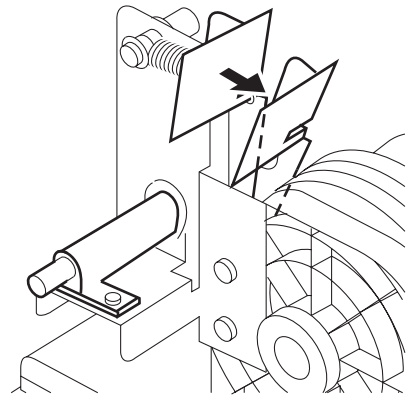
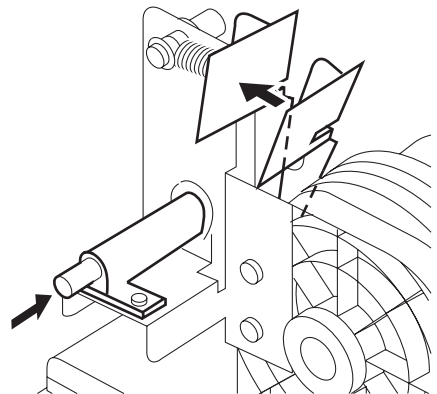
● 使用するロールメディアの幅が広いと、作図中にメディアの端が浮いてきます。「メディア押え」を使用して、メディア端を押さえておくと、メディアの浮きを防止して、メディアがよれることなく作図できます。

注意

★ 厚みのあるメディアを使用する場合は、「メディア押え」をメディアから外して作図してください。

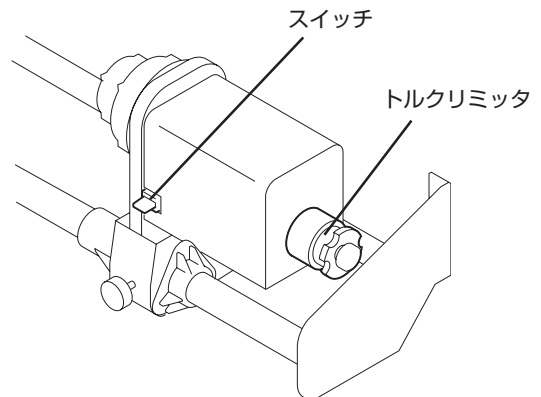
ロックピンの操作方法

ロールホルダーに付いているロックピンは、ロールホルダーを一番上または一番下に取り付けた時に使用します。

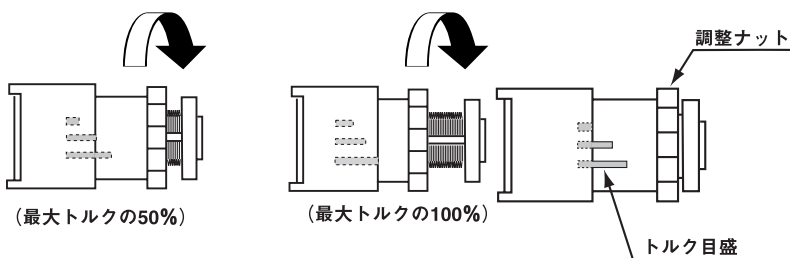
★ ロックピンは必ずメディアをプラテン上まで引き出してから使用してください。ロックが一度解除されると、再セットが必要になります。

① ロールホルダーのレバーを手前に倒します。

② ロックピンを押し、レバーを放します。

巻き取り装置の使い方

巻き取り装置には、メディアの巻き取り方向や巻き取りのオフを設定するスイッチがあります。

REVERSE　:　作図面を内側にして巻き取ります。
OFF　:　巻き取りを行いません。
FORWARD　:　作図面を外側にして巻き取ります。

トルクリミッタを調節をする

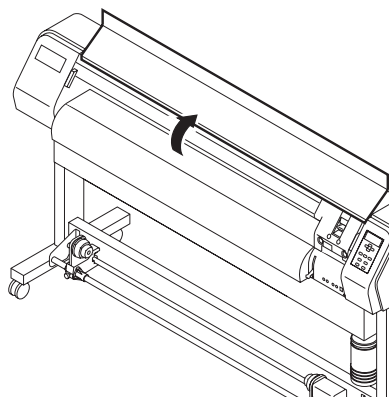
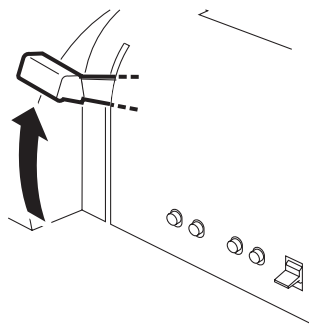
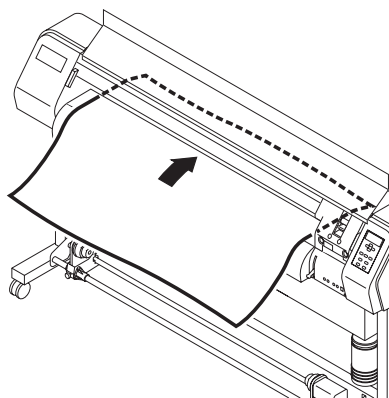
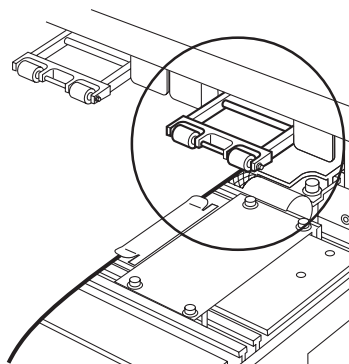
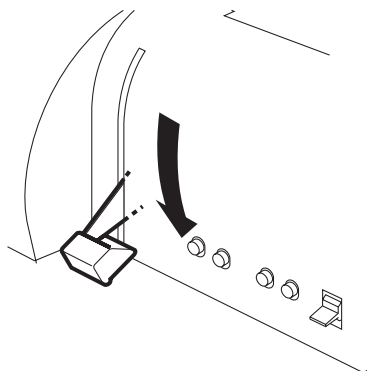
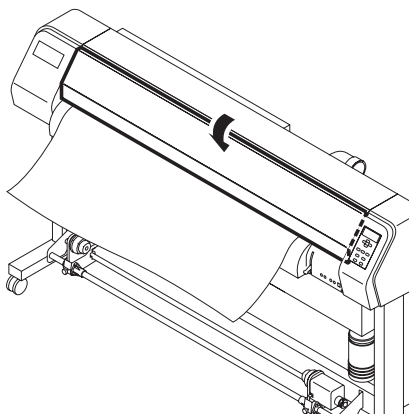
巻き取り装置には、トルクリミッタが付いています。
トルクリミッタを調整して、巻き取りの強さを変更することができます。
（工場出荷時は、トルクリミッタを最も強く設定してあります。）
薄いメディアを使い、、テンションが強すぎる時はトルクリミッタの調節を弱めてください。

● 時計回り　：テンションが強くなる（ターポリン等の重量のある厚いメディア）
● 反時計回り　：テンションが弱くなる（軽いメディア）

★ トルクリミッタの調節が弱すぎると、メディアを確実に巻き取ることができません。またトルクリミッタの調節が強すぎると、メディアによってはたるんでしまい、画質に影響する場合があります。

リーフメディアをセットする

リーフメディアは、ロールメディアと異なりメディアをロールホルダーに固定する必要はありません。

★ リーフメディアを使用する場合は、メディアが曲がってセットされないように注意してください。

① フロントカバーを開けます。

② クランプレバーを上げます。

③ リーフメディアをピンチローラーとプラテンの間に差し込みます。

★ リーフメディアを使用する場合、右端のピンチローラーより右側にメディアが出ないようにセットしてください。

④ クランプレバーを下げます。

⑤ フロントカバーを閉じます。

⑥【ENTER】キーを押します。
初期動作後、ローカルモードに戻ります。
P.1-14

＜ＥＮＴ＞ヲ　オシテクダ゛サイ

⑦ ジョグキー【▶】を押します。
キャリッジが動いてメディア検出をします。
その後ローカルモードになります。

メデ゛ィア　センタク
ロール＜　　　　　＞リーフ

＜ローカル＞
ハハ゛：１２７２mm

ヒーターの温度調整

ヒーターの温度設定を保存するためには、ファンクションモードの「ヒーター」で設定してください。

FUNCTION モード - セッテイ - タイプ＊ - ヒーター

ここでは、あらかじめ FUNCTION モードで設定しておいた温度（P.4-5）を調整する方法について説明します。
作図中にも温度を調整することができるため、適切な温度に調整することができます。
温度を調整する場合は、【HEATER】キーを押して、下記の手順で温度を設定してください。
ただし、周囲の温度により設定した温度に到達するまでには数分から十数分かかります。

★ 本装置は、20 ～ 35℃の環境で使用してください。
周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。

★ ここで調整した温度は、電源をオフにするまで継続するか、下記の条件で新たに温度を変更するまで継続します。
- FUNCTION モードのタイプを変更する
- FUNCTION モードのヒーターの温度を変更する
- コンピュータからヒーターの温度を指定する

● お使いの RIP が、ヒーターの温度をコントロールできる機能を搭載している場合は、RIP 側でコントロールすることができます。
設定方法は、お使いの RIP の取扱説明書をご覧ください。

設定値：

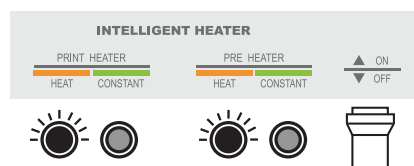
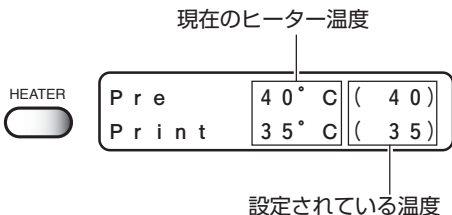
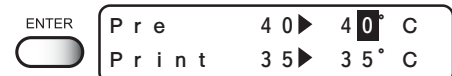
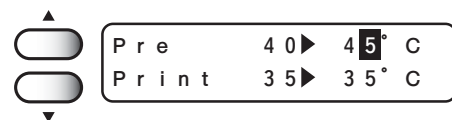
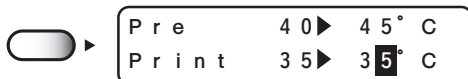
℃の場合：　OFF, 20 ～ 60 ℃（1℃単位）
˚F の場合：　OFF, 68 ～ 140 ˚F（1˚F 単位）
まるめ誤差等により 1˚F 単位に設定できない場合があります。

温度設定の目安

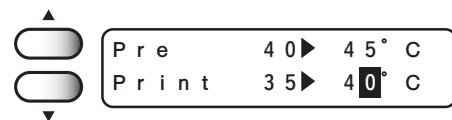
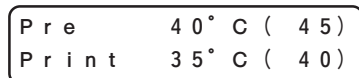
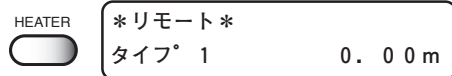
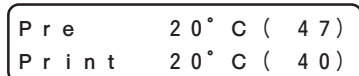
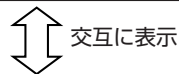
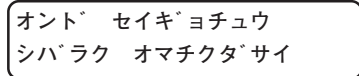
ヒーター ＼ メディア	光沢塩ビ	ターポリン	FF
Pre	40℃	30℃	55℃
Print	40℃	42℃	55℃

メディアの状態により、適温に調整してください。P.4-11

操作手順

① ヒーターのスイッチがオンになっていることを確認します。
ヒーターが加熱中は、HEAT ランプが点灯します。
ヒーターの温度が設定した温度に達している場合は、CONSTANT ランプが点灯します。

②【HEATER】キーを押します。
現在のヒーターの温度と設定されている温度を表示します。
再度【HEATER】キーを押すと、元の表示に戻ります。
３０秒間何もキーを押さないと、ローカルモードまたはリモートモードになります。

③【ENTER】キーを押します。
カーソルを表示し、プリヒーターの温度の変更が可能になります。

④ ジョグキー【▲】または【▼】で温度を変更します。

⑤ ジョグキー【▶】を１回押してプリントヒーターを選択します。
カーソルがプリントヒーターに移動し、温度の変更が可能になります。

⑥ ジョグキー【▲】または【▼】で温度を変更します。

⑦【ENTER】キーを押します。

Pre 40° C (45)
Print 35° C (40)

⑧【HEATER】キーを押します。
ローカルモードまたはリモートモードに戻ります。

ヒーターの温度が設定温度に到達していない場合は、右の表示になります。
ヒーターが設定した温度に達すると、ブザーが鳴りプリヒーターとプリントヒーターのCONSTANTランプが点灯し、リモートモードに変わります。

- 設定した温度に到達する前に作図を開始する場合は、【ENTER】キーを押してください。リモートモードに変わります。

2
作業の流れ

ヒーターに異常がある場合

ヒーターの電源スイッチをオフの場合、またはヒーターに異常が発生した場合は、下記の表示になります。
【HEATER】キーを押すと、エラーメッセージを表示します。

ローカルモード時	リモートモード時
＜ローカル＞　！ヒーター ハバ：xxxxmm	＊リモート＊　！ヒーター タイプ X　　XX．XXm

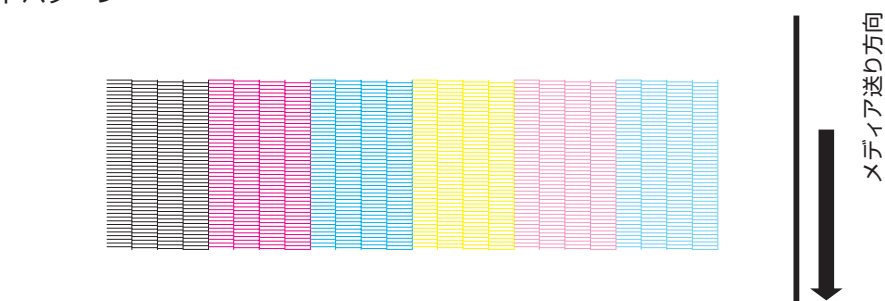
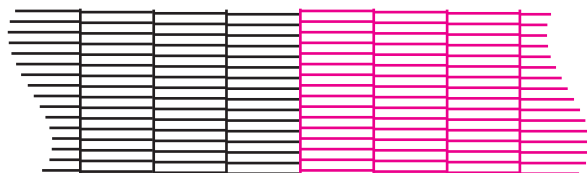
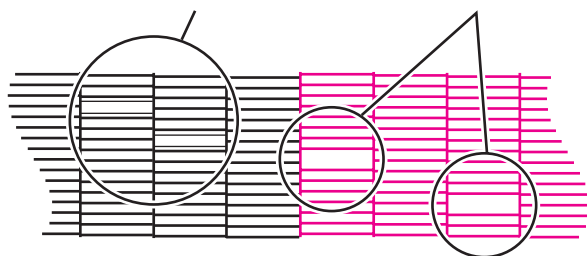
ノズル詰まりの確認／解消

テスト作図を行い、ノズル詰まりなどの作図不良がないか確認します。
異常がある場合は、クリーニング機能を実行します。

★ テストパターンをリーフメディアに作図する場合、A4 サイズの横置き以上のサイズのメディアを使用してください。

★ クリーニング動作を繰り返しても作図不良が直らない場合は、ワイパとインクキャップを清掃してください。 P.3-4

★ ロールメディアをお使いの場合、テスト作図終了後、【REMOTE】または【FUNCTION】キーを押すと、メディアが作図原点位置まで戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。
作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。

テストパターン

正常なパターン

異常なパターン

操作手順

① ローカルモードにします。
【REMOTE】キーを押して、ローカルモードに戻します。

REMOTE

<ローカル>
ハバ゛：１２７２mm

② 【TEST & CLEANING】キーを押します。

TEST & CLEANING

テストサクズ゛
<ＥＮＴ>

③ 【ENTER】キーを押します。
テスト作図を開始します。

ENTER

＊＊　テストサクズ゛　＊＊

④ 作図結果を確認します。
異常がある場合は、手順⑤に進みます。
正常な場合は、操作を終了します。

<ローカル>
ハバ゛：１２７２mm

⑤ 【TEST & CLEANING】キーを２回押します。

TEST & CLEANING

クリーニング゛
タイプ゜　：ノーマル

⑥ ジョグキー【▲】【▼】を押して、クリーニングの方法を選択します。

ノーマル:
線の抜けがある時に使用します。

ソフト:
線の曲がりがある時に使用します。

キョウリョク:
ノーマル、ソフトのいずれかのクリーニングを実行しても作図不良が直らない時に使用します。

▲ ▼

クリーニング゛
タイプ゜　：ノーマル

クリーニング゛
タイプ゜　：ソフト

クリーニング゛
タイプ゜　：キョウリョク

⑦ 【ENTER】キーを押します。
クリーニング動作を開始します。動作の進行状況を２行目に＊表示で知らせます。

ENTER

クリーニング゛チュウ
＊＊＊＊＊ーーーーーーーーー

⑧ ローカルモードに戻ります。

<ローカル>
ハバ゛：１２７２mm

⑨ 再度手順②を実行し、作図結果を確認します。
作図結果が正常になるまで手順②から手順⑦を繰り返します。

メディアの送り量を補正する [ﾒﾃﾞｨｱﾎｾｲ]

メディアの種類を交換したり、ヒーターの温度を変更した場合、巻き取り装置の使用の有無により、メディアの送り量が変化します。必ずメディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、作図した画像に縞などが入るなど、綺麗に作図できない場合があります。

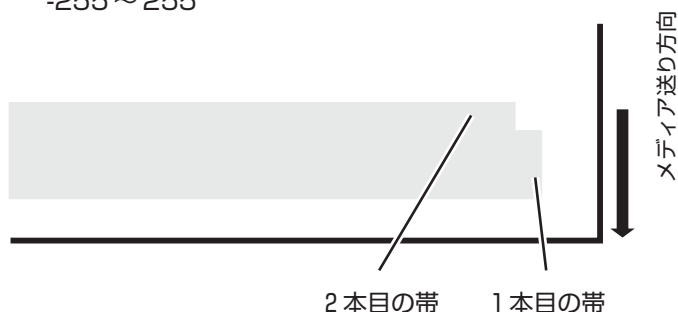
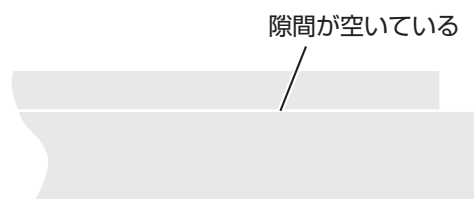
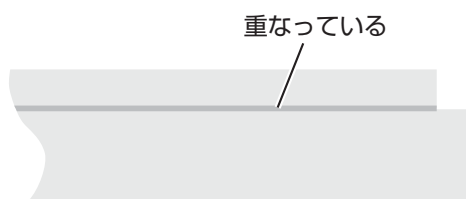
注意

★ ヒーターの温度を変更した場合は、CONSTANT ランプが点灯し、設定した温度に達していることを確認してから補正してください。

★ ロールメディアをお使いの場合、メディアホセイを終了すると、作図原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。
作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。

補正パターン

2 本の帯を作図します。
2 本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。

設定値
-255 ～ 255

操作手順

① プロッタの表示モードが、ローカルモードになっていることを確認します。

<ローカル>
ハバ゛：１２７２mm

②【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION

ＦＵＮＣＴＩＯＮ
セッテイ　　　　<ＥＮＴ>

③【ENTER】キーを押します。

ENTER

セッテイ
センタク　　　：タイプ゜　１

④ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、タイプを選びます。 P.4-4

セッテイ
センタク　　　：タイプ゜　１

⑤【ENTER】キーを押します。

ENTER

タイプ゜　１
メデ゛ィアホセイ　　<ｅｎｔ>

⑥【ENTER】キーを押します。

サクズ゛　チュウ
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ

⑦ 出力パターンの状態により、補正値を入力します。
ジョグキー【▲】【▼】を押して、補正値を入力します。

● 補正値を30変更するごとに、帯が約0.1mm移動します。
この移動量を参考にして、補正量を決定してください。

⑧【ENTER】キーを押します。
補正値を登録します。
正常なパターンを作図するまで手順⑥〜⑧を繰り返します。

⑨【END】キーを３回押すと、メニューがローカルモードまで戻ります。

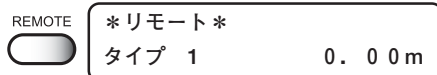
<ローカル>
ハバ゛：１２７２mm

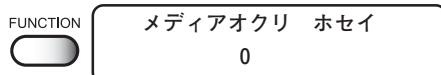
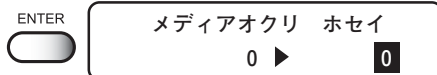
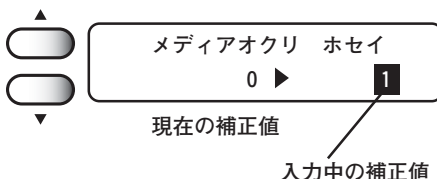
作図中にメディアの送り量を補正する

「メディアホセイ」（P.2-25）では、ローカルモード中に作業を行いましたが、ここではリモートモード、または画像データ作図中にメディア送り量を補正する方法を説明します。

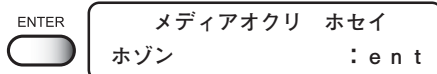
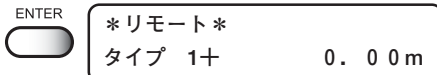
操作手順

① 【REMOTE】キーを押します。

REMOTE

＊リモート＊
タイプ　１　　　　　０．００m

② 【FUNCTION】キーを押すと、現在の補正値を確認できます。
補正値が適正な場合や操作を中止する場合、
【END】キーをキーを押すとリモート表示に戻ります。

③ 【ENTER】キーを押します。
補正値の変更状態になります。

④ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、補正値を変更します。

● 画像データ作図中の場合、補正値を変更した時点で数値が反映されるため、作図をみながら微調整することができます。

● 補正値の単位はローカルモード時の「メディアホセイ」と同じです。
（P.2-25）

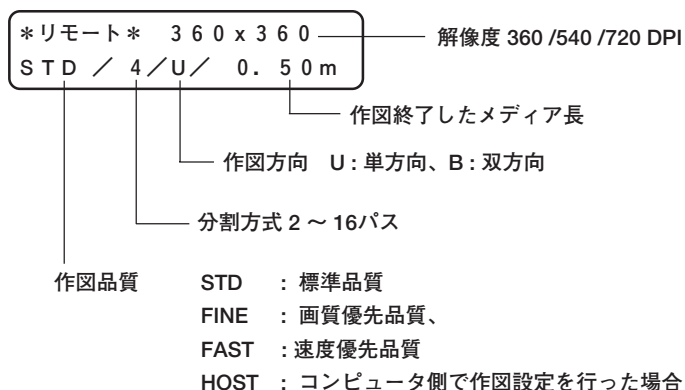
⑤ 【ENTER】キーを押します。
補正値の保存確認になります。
【END】キーを押すとリモート表示に戻ります。
変更した補正値は無効になり、変更前の値になります。

⑥ 【ENTER】キーを押すと、リモート表示に戻ります。
補正値を保存し、次回の電源投入時も有効になります。
本操作で設定を変更した場合、タイプ番号の後に“+”を表示します。

【END】キーを押すと一時的に補正値を保存します。
次回の電源投入時やメディア検出で無効になります。

画像データを作図する

作図を開始する

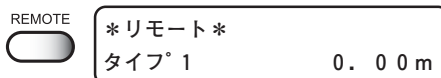
コンピュータからデータを受信するためのモード切り換え、および作図中の表示について説明します。
なお、作図するために必要な各種機能の設定については、「4章 設定機能について」をご覧ください。

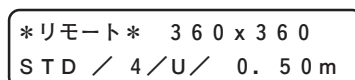
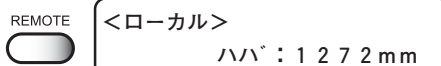
作図を開始するとディスプレイには、下記の情報を表示します。

STD	:	標準品質
FINE	:	画質優先品質、
FAST	:	速度優先品質
HOST	:	コンピュータ側で作図設定を行った場合

操作手順

① ヒーターの温度を確認します。
ヒーターパネルのCONSTANTランプが点灯していることを確認します。 P.1-7, P2-20

②【REMOTE】キーを押します。
ローカルモードからリモートモードになります。
現在選択している作図条件のタイプを確認できます。 P.4-4

③ コンピュータからデータを送信します。
作図データの作図条件を表示します。
データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

④ 作図を開始します。
作図を開始すると、作図した分のメディア長を表示します。

＊リモート＊　３６０ｘ３６０
ＳＴＤ　／　４／Ｕ／　０．５０ｍ

⑤ 作図が終了したら、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。

作図を中止する

作図を中止する場合、作図動作を止めて受信したデータを本装置から消去します。

操作手順

①【REMOTE】キーを押して、作図を中止します。

② コンピュータからデータを送信している場合、
データ送信を止めます。

③【DATA CLEAR】キーを押します。
受信したデータを消去します。

④【ENTER】キーを押します。
ローカルモードに戻ります。

作図が終了したら

作図を終了した後のメディアカットについて説明します。

★ 作図を終了しても本装置の主電源スイッチをオフにしないでください。
ノズル詰まりの原因になります。

★ 自動でメディアカットをしない設定にしてある場合（☞ P.4-7）は、
以下の手順でメディアをカットします。

操作手順

① ローカルモードにします。
【REMOTE】キーを押して、ローカルモードに戻します。

② ジョグキーを押し、[ｹﾞﾝﾃﾝｾｯﾃｲ] を選択します。
ジョグキーは、いずれのキーも使用可能です。

③【FUNCTION】キーを押します。

④【ENTER】キーを押します。
メディアをカットします。

⑤ ローカルモードに戻ります。
作図前の状態に戻ります。

<ローカル>
ハバ゛：１２７２mm

インク残量が少なくなったら

インクカートリッジ内のインクが少なくなってくるとメッセージを表示します。
なお、作図は続行できますが、作図中にインクが無くなる場合があります。
速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

★ [ニアエンド]を表示したら、早めにインクを交換してください。
また、連続出力をする場合は、インク残量を確認後、作図を開始してください。作図中にインクが無くなると、作図を停止します。インクを交換すると、色が変わってしまう場合があります。

<使用中に、インク残量が少なくなった場合>

インク残量が少ない色を表示します。
右の表示は、ブラックインクの残量が少ないことを示しています。

```
<ローカル>
ニアエンド゛        K－－－－－
```

<使用中にインクの残量が全く無くなった場合>

インクが無くなった色を表示します。
右の表示は、シアンインクが無くなったことを示しています。

```
<ローカル>
インクエンド゛      －－C－－－
```

交換手順

① 作図中に、上記のメッセージを表示します。
[ニアエンド] の表示では、１つのデータを作図するごとにローカルモードになり、動作を停止します。
作図が終了したら、手順②に進んでください。
[インクエンド]の表示で、作図は続行できません。

② 新しいインクと交換します。
インク色を表示したインクカートリッジを引き抜いて、新しいインクカートリッジをセットします。

③ リモートモードにします。
連続して作図ができます。

インク情報を表示する

インク残量を表示し、確認することができます。

① ローカルモードの時に、【ENTER】キーを押します。
インク残量を１から９までの数字で表示します。
１はニアエンドを、９はフルを示します。

```
<ローカル>     K M C Y m c
ザンリョウ     9 8 7 5 8 8
```

② 【ENTER】キーを押すと、ローカルモードに戻ります。
インクカートリッジに異常がある場合は、エラーの詳細を表示します。P.6-5, 6-6

カートリッジ異常が発生したら

インクカートリッジに異常が発生したら、メッセージを表示します。
作図、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。
速やかに新しいインクカートリッジに交換して下さい。

★ カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。
ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

カートリッジ異常の詳細を表示する。

カートリッジ異常の内容を確認することができます。

① ローカルモードの時に【ENTER】キーを押します。

<ローカル>
カートリッジ　　　　KMCYmc

（6色モデル）

② 【ENTER】キーを押します。

インクカートリッジに異常がなければローカルモードに戻ります。
複数のカートリッジ異常が発生している場合、再度【ENTER】キーを押すと表示されます。
【ENTER】キーを押し、すべてのカートリッジ異常の表示が終わると、ローカルモードに戻ります。

電源をオフにする

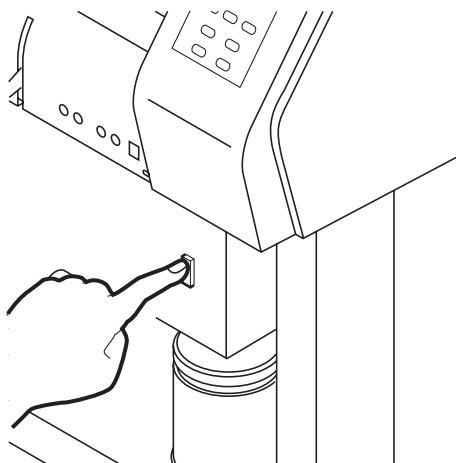
プロッタの使用が終了したら、前面にある電源スイッチを押してオフにします。
電源をオフにするときは、データを受信していないか、未出力のデータが残っていないかを確認してください。
また、ヘッドがキャッピングステーションにあることを確認してください。

★ 背面にある主電源スイッチはオフにしないでください。定期的に電源がオンになりノズル詰まり防止機能が動作します。（フラッシング機能）
主電源スイッチがオフ状態で長時間放置すると、ノズルが詰まり、サービスマンによる修理が必要になります。

★ フロントカバーは閉めたままにしてください。フロントカバーが開いているとノズル詰まり防止機能が動作しません。

★ 電源スイッチをオフにすると、本装置の排気ファンも停止します。換気のため、作図直後は電源をオフにしないでください。

★ キャッピングしていないまま電源をオフした場合は、再度電源をオンにしてください。ヘッドがキャッピングステーションに戻り、ヘッドの乾燥を防ぎます。
作図中に電源をオフすると、ヘッドがキャッピングステーションに格納されない場合があります。キャッピングしていない状態で長時間放置するとノズル詰まりの原因になります。

① 前面にある電源スイッチを押します。
操作パネルの POWER ランプが消灯します。

3章
日常のお手入れ

日常行うお手入れについて説明します。

本章の内容

日常のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

★ メンテナンス用洗浄液 RS を使用する場合は、必ず付属の保護メガネを使用してください。

★ 本装置を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。

★ 本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。

★ お手入れは、主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。

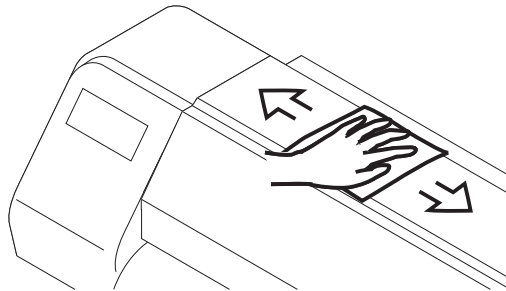
★ ヘッドのノズル面やワイパ、キャップ等を水、アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。

★ ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。

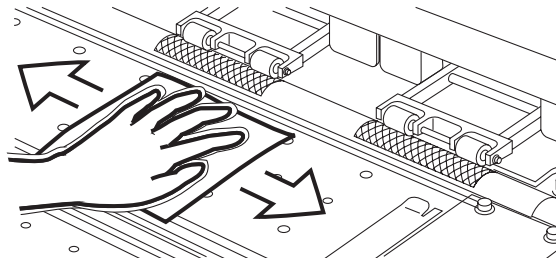
★ 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。プロッタ機構が故障する恐れがあります。

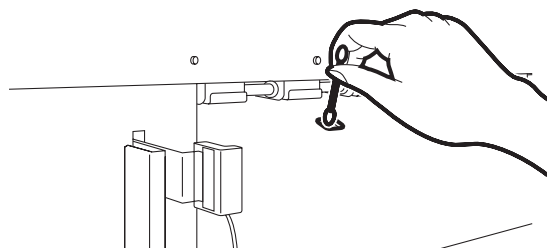
★ メンテナンス用洗浄液 RS やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。

プラテンの清掃

★ プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。

プラテン上は、メディアをカットするため、糸や紙粉等で汚れます。
ペーパータオルで汚れを拭き取ります。
インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液 RS をスポイトで垂らし、ペーパータオルで拭き取ります。

メディアセンサーの清掃

綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。

ワイパとキャップのクリーニング

キャップは、ヘッドのノズルが乾燥して目詰まりするのを防止します。
ワイパは、ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取ります。
本装置を使用しているとインクやホコリ等でワイパやキャップが汚れてきます。
付属の綿棒を使用してクリーニングします。
画質や本装置の状態を良好に保つために、定期的にクリーニングをしてください。

★ 清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは操作キーを使用して動かします。

操作手順

① 【FUNCTION】キーを 1 回押します。

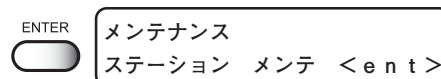
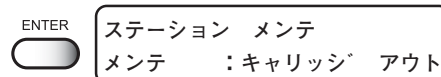
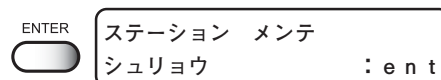
② ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

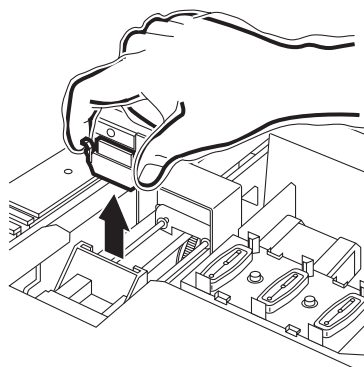
FUNCTION
メンテナンス <ENT>

③ 【ENTER】キーを押します。
[ステーション　メンテ]を表示します。

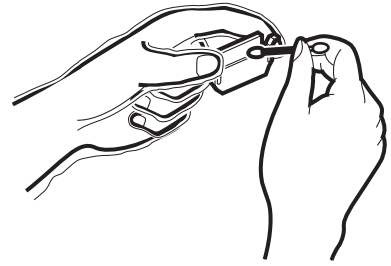
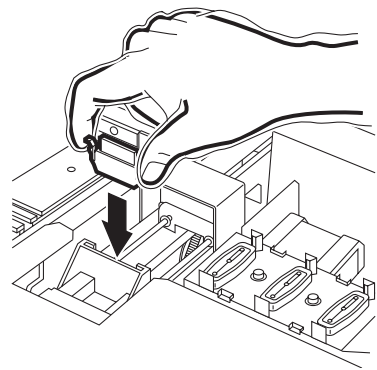
ENTER
メンテナンス
ステーション　メンテ <ent>

④ 【ENTER】キーを押します。
[キャリッジ　アウト]を表示します。

ENTER
ステーション　メンテ
メンテ　：キャリッジ　アウト

⑤ 【ENTER】キーを押します。
キャリッジがプラテン上に移動します。

ENTER
ステーション　メンテ
シュリョウ　：ent

⑥ フロントカバーを開けます。

⑦ ワイパ両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。

⑧ ワイパとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液RSを含ませた綿棒で取り除きます。

● 汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパと交換します。交換する場合は、本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。

P.5-5

⑨ 両端の突起を持って、クリーニングしたワイパを差し込みます。

⑩ キャップのゴムや、ワイパカバーの天井に付着したインク等を綿棒で拭き取ります。

★ 綿棒の繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、作図不良の原因になります。

⑪ フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。

初期動作を実行し、ローカルモードに戻ります。

ショキカ　チュウ
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ

<ローカル>

洗浄キットでクリーニングする

ステーション内部の汚れがひどい場合、またクリーニング機能（ P.2-23, 4-10)を実行してもノズル抜けが解消されない場合は、洗浄キットを使用します。
洗浄キットには、以下の物が入っています。アルコール、水等は使用しないでください。

- メンテナンス用洗浄液 RS（SPC-0336）
- スポイト
- 綿棒
- 手袋

ステーション内部の洗浄

操作手順

① 【FUNCTION】キーを 1 回押します。

```
FUNCTION
セッテイ            <ENT>
```

② ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

```
FUNCTION
メンテナンス          <ENT>
```

③ 【ENTER】キーを押します。
[ステーション　メンテ]を表示します。

```
メンテナンス
ステーション　メンテ　<ent>
```

④ 【ENTER】キーを押します。
[キャリッジ　アウト]を表示します。

```
ステーション　メンテ
メンテ　　：キャリッジ　アウト
```

⑤ 【ENTER】キーを押します。
キャリッジがプラテン上に移動します。

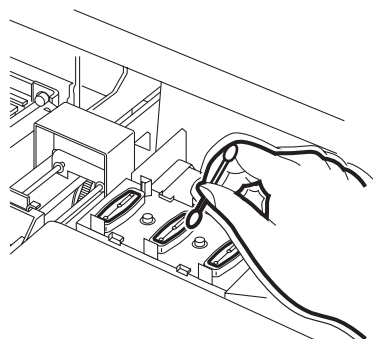
```
ステーション　メンテ
シュリョウ           ：ent
```

⑥ フロントカバーを開けます。

⑦ 綿棒に洗浄液を浸します。

⑧ メンテナンス洗浄液RSを浸した綿棒で、ワイパとキャップ周りの汚れを拭き取ります。

注意

★ 綿棒の繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、作図不良の原因になります。

⑨ フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。
初期動作を実行し、ローカルモードに戻ります。

```
<ローカル>
```

ノズルの洗浄[ノズルセンジョウ]

★ この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、[インクジュウテン]、[センジョウ]機能（ P.5-11）を実行してください。それでも解消されない場合は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。

操作手順

① 【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION
セッテイ <ENT>

② ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]選びます。

FUNCTION
メンテナンス <ENT>

③ 【ENTER】キーを押します。
[ステーション　メンテ]を表示します。

メンテナンス
ステーションメンテ < ent >

④ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ノズルセンジョウ]を選びます。

ステーション　メンテ
メンテ ： ノズルセンジョウ

⑤ 【ENTER】キーを押します。
キャリッジがプラテン上に移動します。

ステーション　メンテ
シュリョウ ：ent

⑥ フロントカバーを開けます。

⑦ スポイトでメンテナンス洗浄液ＲＳ をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。

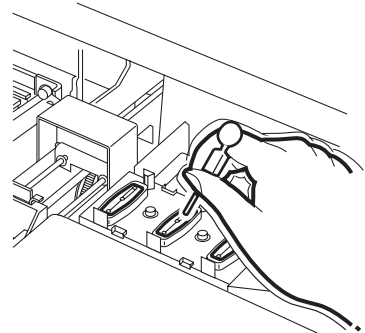
⑧ フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。

⑨ ジョグキー【▲】【▼】を押して、放置する時間を選びます。（1 ～ 99 分：1 分単位）
通常は「1 分」で設定します。

ステーション　メンテ
ホウチジカン ：1min

⑩ 【ENTER】キーを押します。
洗浄液吸引、クリーニング動作のため、右の表示が設定した放置時間、続きます。

ショキカ　チュウ
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ

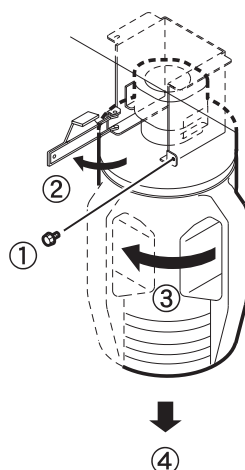
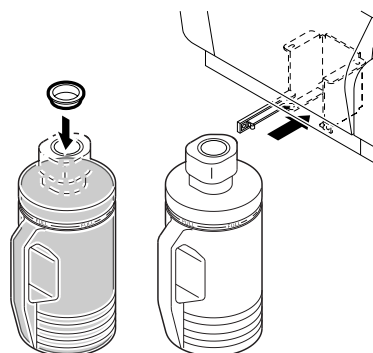
⑪ ローカルモードに戻ります。

<ローカル>

廃インクタンクのインクが溜まったら

ヘッドのクリーニングなどで使用したインクは、本装置の右下にある廃インクタンクにたまります。
廃インクタンクのインク量が「FULL」ラインを超えたら、速やかに廃インクタンクを交換してください。

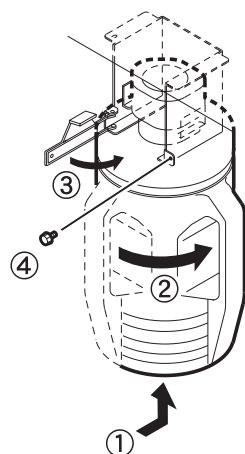
操作手順

① 廃インクタンクガードのネジをはずします。
② 廃インクタンクガードを開けます。

③ 廃インクタンクの取っ手を持ち、上に持ち上げます。
④ 上に持ち上げたまま、廃インクタンクを90度回し、下方に下げます。
⑤ 手前に引き出します。

⑥ 廃インクタンクを交換します。
取っ手を持ち、矢印の方向に差し込みます。
インクが溜まっている廃インクタンクには、キャップをはめます。

★ 廃インクタンクを引き出す際に、廃インクを飛ばさないように、廃インクタンク口をペーパータオルなどで押さえながら、ゆっくり引き出してください。
★ インクで床を汚さないように、下に紙を敷いてから交換してください。

⑦ 差し込んだ廃インクタンクを上に持ち上げて90 度回します。

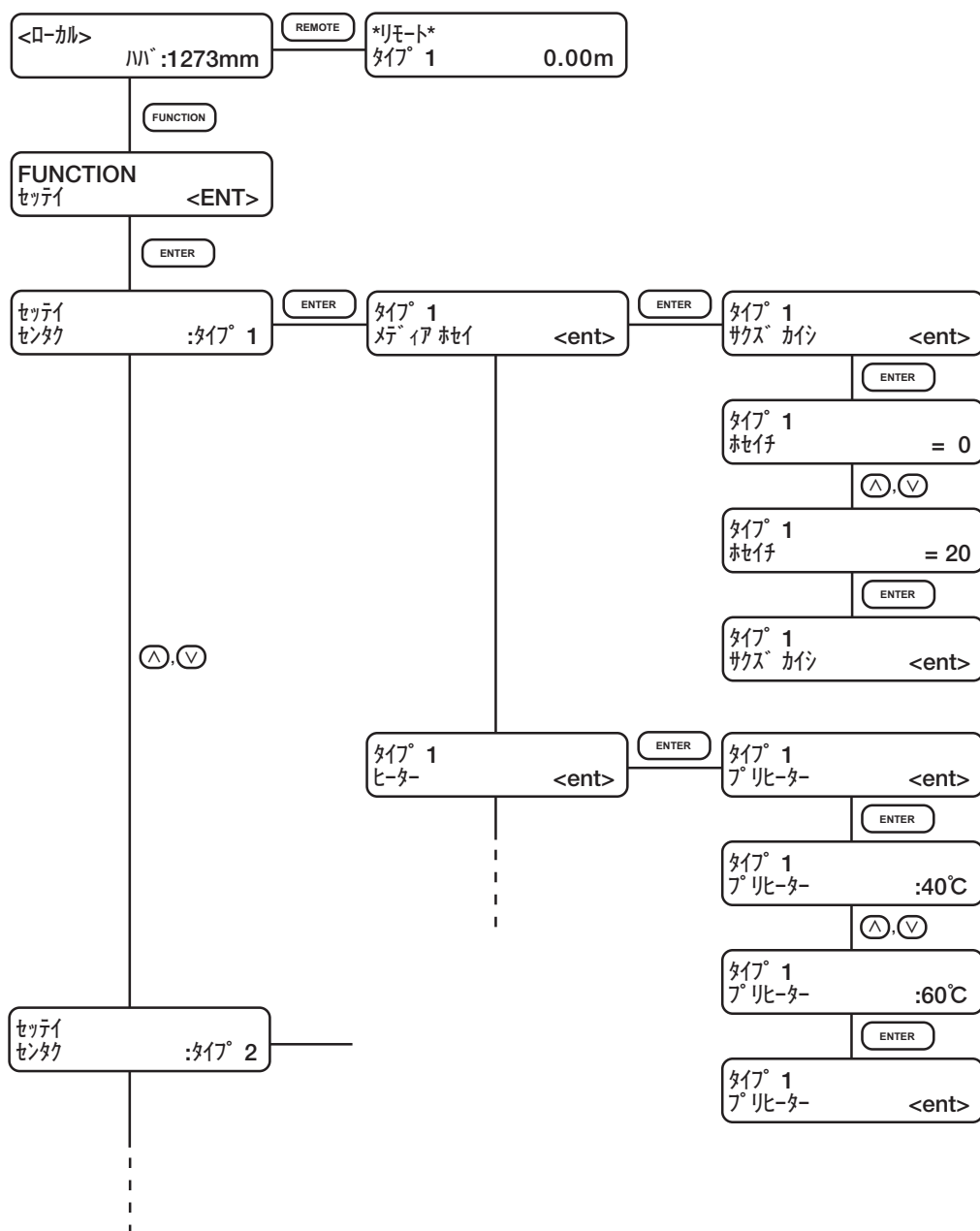
⑧ 廃インクタンクガードを閉めます。
⑨ 廃インクタンクガードのネジを締めて、廃インクタンクを固定します。

★ 廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

4章
設定機能について

ファンクション機能、ヒーターの適温設定、排気ファンの動作設定について説明します。

本章の内容

メニューの基本操作

ここでは、各モードの切り替え、メニューの操作方法について説明します。
各メニューに入るキー操作は、下図のようになります。
詳細なメニュー構造は、付録をご覧ください。

① **ローカルモードにします。**

リモートモードにしても作図しないことを確認してから、【REMOTE】キーを押してローカルモードにします。

② **ファンクションモードに入ります。**

【FUNCTION】キーを押すと、ファンクションモードに入ります。

ファンクションモードは、設定機能とメンテナンス機能に分かれています。ここで設定機能かメンテナンス機能かを選択します。

③ **タイプを選択します。**

タイプは 4 種類あり、それぞれのタイプにファンクション機能を設定できます。使用するメディアの種類によってファンクション機能を設定することができます。

④ **ファンクション機能を選択します。**

ジョグキー【▲】または【▼】を押して、機能を選択します。

⑤ **選択したファンクション機能に入ります。**

【ENTER】キーを押します。

⑥ **パラメータを選択します。**

ジョグキー【▲】または【▼】を押して、パラメータを選択します。

⑦ **設定を登録します。**

【ENTER】キーを押します。

⑧ **ローカルモードに戻ります。**

【END】キーを数回押して、ローカルモードに戻ります。

設定機能について

ファンクションモードの設定機能には１６項目の機能があります。
１６項目の機能は、それぞれ４タイプに登録できます。
メディアの種類別にタイプを登録しておけば、違う種類のメディアに交換した場合に容易に作図条件等を変更できます。

例）　タイプ１　：ターポリン１用
　　　タイプ２　：ターポリン２用
　　　タイプ３　：ＦＦ（Flexible Face）用
　　　タイプ４　：塩ビマット

タイプの登録

操作手順

① プロッタの設定が､ローカルモードになっていることを確認します。

＜ローカル＞
ハバ゛：１２７２mm

②【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION
ＦＵＮＣＴＩＯＮ
セッテイ　＜ＥＮＴ＞

③【ENTER】キーを押します。

ENTER
セッテイ
センタク　：タイフ゜　１

④ ジョグキー【▲】【▼】を押して、タイプ１から４を選び設定します。

⑤【ENTER】キーを押します。
各作図条件を設定します。
☞ P.4-5～

タイプの変更

既にタイプ１から４の各作図条件を登録してある場合は、タイプを選択するだけで、作図に合わせた設定を切り替えて使用できます。

① 上記操作手順①から⑤を実行します。
使用するタイプを選択します。

タイフ゜　１
メテ゛ィアホセイ　＜ｅｎｔ＞

②【END】キーを押します。
選択したタイプに登録されている作図条件で作図が行えます。

設定機能一覧

各機能の概要と設定値について説明します。

メディアホセイ ☞ **P.2-24**

メディアの種類を交換した場合、またはヒーターの温度を変更した場合は、必ずメディアの厚みによる送り量を補正します。
(-255 ～ 255)

ヒーター （作図中に温度を設定する場合は ☞ P.2-20）

プラテン内に内蔵されているプリントヒーターとプリヒーターについて設定します。

・プリヒート：
プリヒーターの温度を設定します。
(OFF, 20 ～ 60 ℃／ 68 ～ 140˚F)

・プリントヒート：
プリントヒーターの温度を設定します。
(OFF, 20 ～ 60 ℃／ 68 ～ 140˚F)

・℃／˚F：
温度の単位を切り替えます。
(℃, ˚F)

・スタンバイ：
作図が終了し、ヒーターが予熱温度に下がり始める時間を設定します。あらかじめ予熱温度は設定されているので、変更はできません。温度が下がった状態で作図を開始すると、自動的に設定温度まで上がります。「ナシ」を設定すると予熱温度になりません。
(ナシ , 10 ～ 90 min /10 min 単位)

・OFF ジカン：
以下の場合にヒーターをオフにします。
- スタンバイ時に、設定時間以上作図しない場合
- スタンバイ -「ナシ」の設定時に、作図終了後に設定時間以上作図しない場合

ヒーターがオフ状態で作図を開始すると、自動的に設定温度まで上がります。「ナシ」を設定すると、ヒーターはオフになりません。
(ナシ , 30, 60, 90 min.)

4

設定機能について

サクズホウシキ

作図品質、作図方向、およびロジカルシークについて設定を行います。

・**サクズヒンシツ：**

3 種類の中から選択します。
(ヒョウジュン , キレイ , ハヤイ)

・**ホウコウ：**

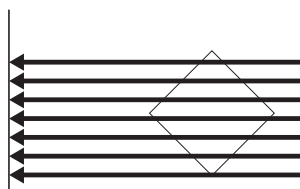
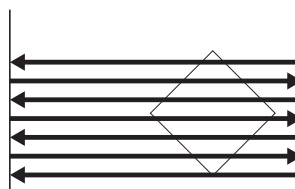
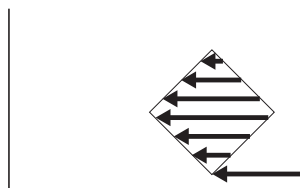
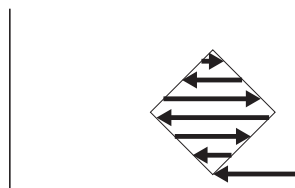
ヘッドが左右に動く際に、どちらに移動したときに作図するか設定します。
「タンホウコウ」は、ヘッドが左へ移動しながら作図します。
「ソウホウコウ」は、ヘッドが左右に移動しながら作図します。
「タンホウコウ」より高速に印刷しますが、画質は多少低下します。
(タンホウコウ , ソウホウコウ)

・**ロジカルシーク：**

通常、ヘッドはメディアの幅いっぱいに移動して作図します。

ロジカルシークは、画像の幅に合わせてヘッドが左右に移動して作図します。作図時間が短縮できます。

写真画のような四角形全面のラスターデータでは効果が得られませんが、イラストのようなデータには効果が得られます。

下図にヘッドの動きを示します。

カサネヌリ

インクの発色が悪い場合に重ね書きする回数を設定します。
（1 ～ 9 回）

カンソウジカン

インクの乾燥時間を設定します。
スキャンごと（1 回のヘッド往復）の待ち時間と、作図終了後のメディアカットまでの時間を設定します。
乾燥時間は、作図の印字密度およびメディアの種類により設定します。

- **スキャン：**
  ヘッドが往復する度に、キャッピングステーションで一時停止する時間を設定します。
  （0.0 ～ 9.9 sec.）
- **オートカット：**
  作図が終了し、メディアをカットするまでの時間を設定します。
  ただし、次に説明する「オートカット」機能が有効である必要があります。
  （0 ～ 999 sec.）

オートカット

作図終了後、メディアを自動でカットするか設定します。
オートカットしない場合は、続けて次の画像データを作図します。
（ON, OFF）
メディアはオートカットを設定していなくても、手動でカットが可能です。
☞ P.2-29

ユウセンジュンイ

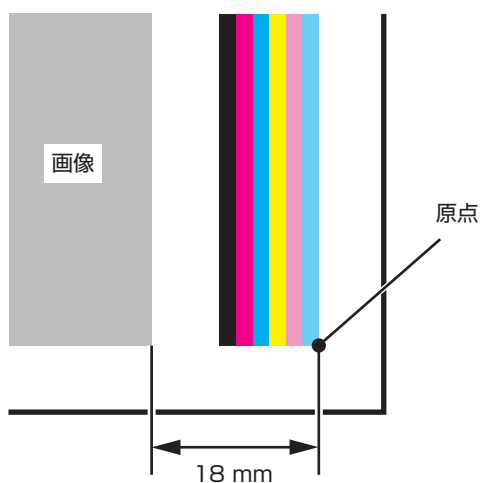
下記の 7 機能を本装置（パネル）で設定した値を優先にするか、コンピュータ（ホスト）で設定した値を有効にするか設定します。
（ホスト、パネル）

- **メディアホセイ**
- **ヒーター**
- **サクズホウシキ**
- **カサネヌリ**
- **カンソウジカン**
- **オートカット**
- **リフレッシュ**
- **キュウチャク**

マージン

メディア左右に余白を設けます。
綴じ代など、余白が必要な場合に設定します。
デッドスペースは、メディアの左右それぞれに設定可能です。
(-10～85 mm)

カラーパターン

メディアの右端にカラーパターンを作図します。作図中にノズル詰まりを確認できます。
カラーパターンは、原点から18 mmのエリアに作図します。作図エリアが狭くなるため、メディア幅いっぱいに作図する場合は本機能をオフにしてください。

リフレッシュ

作図中に、インクヘッドのリフレッシュを行います。ホコリが多い場所や、湿度の低い場所で本機能を使用し、ヘッドのインク詰まりを防ぎます。レベル数が大きいほど、リフレッシュ回数が多くなります。
(レベル0～3)

メディアケンシュツ

メディアの検出方法を設定します。

・セレクト：

初期動作でロールメディアとリーフメディアを選択するメニューを表示します。
ロールメディアを選択すると、メディアの「幅」を検出します。
リーフメディアを選択すると、メディアの「幅」と「長さ」を検出します。

・ハバ：

ロールメディアを使用する場合に設定します。
メディアをセットしクランプレバーを下げると、自動的にメディアの「幅」のみを検出します。

キュウチャク

メディアの吸着力を設定します。メディアがプラテンに張り付きやすい場合は、「ヨワイ」に設定します。
（ヒョウジュン、ヨワイ、OFF）

ミリ／インチ

表示する単位を設定します。出荷時は[ミリ]に設定してあります。
（ミリ、インチ）

スタンプ

作図終了後に、出力日時、作図条件を印刷します。

・モードスタンプ：

作図条件を作図します。
（ON, OFF）

・タイムスタンプ

出力日時を作図します。
（ON, OFF）

オートクリーニング

自動的にヘッドをクリーニングします。作図ごとにクリーニングを実行して、作図不良を防止します。
（ON, OFF）

ヘッドタカサ

作図するヘッド高さに合わせた設定にします。
メンテナンスのドットイチホセイで登録したヘッドタカサ（ヒクイ／タカイ）の補正値を使います。
（ヒクイ、タカイ）
☞ P.5-9 ドットイチホセイ

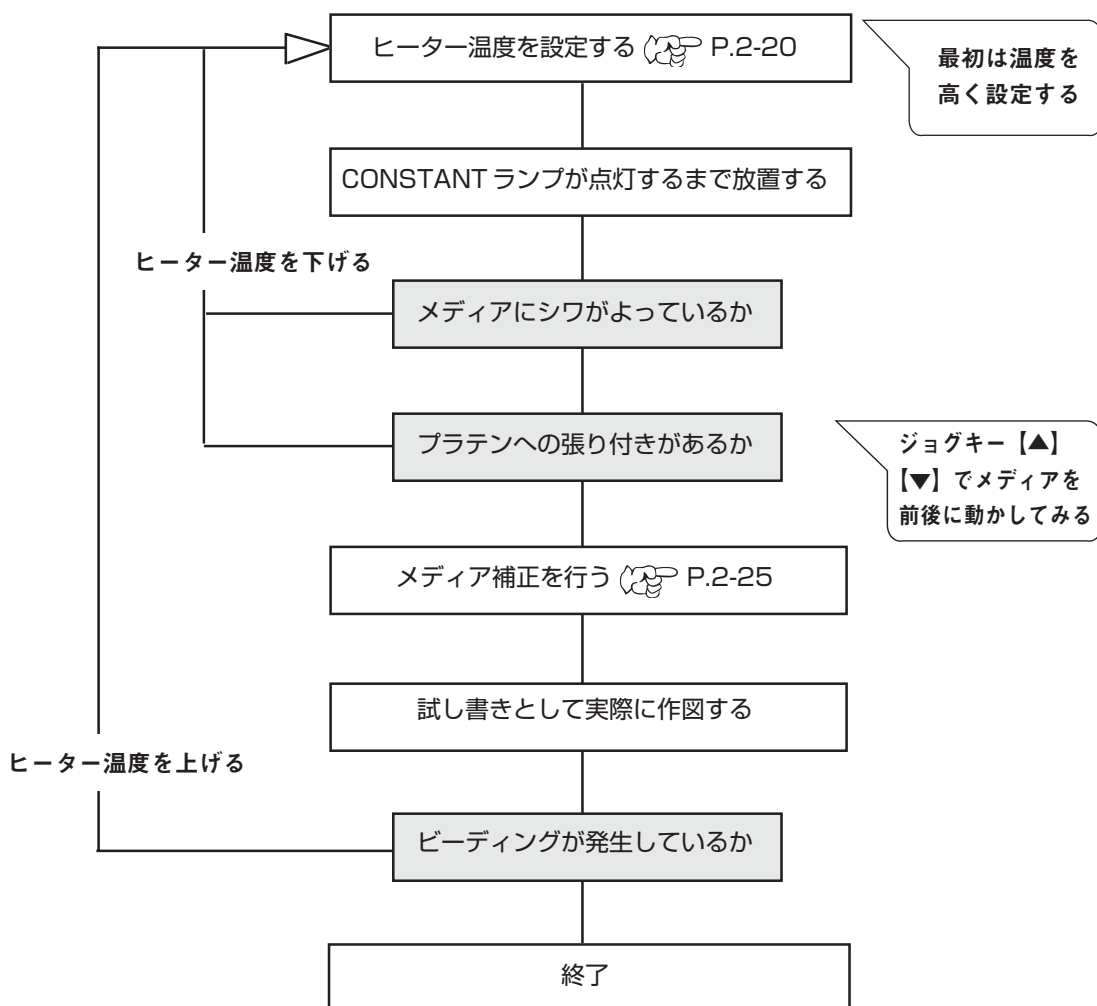
セッテイリセット

設定した作図条件を、工場出荷時の設定値に戻します。タイプごとにリセットします。
（ON, OFF）

ヒーター適温設定について

ここでは、ヒーター温度を調整する際（ P.2-20, 4-5）の適温設定について説明します。

ヒーターの温度はメディアの種類、環境温度などにより異なります。各メディアに適した温度に設定します。非コートメディアやインク乾燥の遅いメディアは、インクの定着性、乾燥性をアップさせます。

以下の方法で、確認しながら適温に設定してください。

排気ファンの設定

ここでは、インク臭気を逃がす排気ファンの回転動作について設定します。

テイシタイマー

作図終了後、排気ファンの回転を時間指定で停止します。

・レンゾク：

常時、高速（HIGH）で回転します。

・0 ～ 240 min：

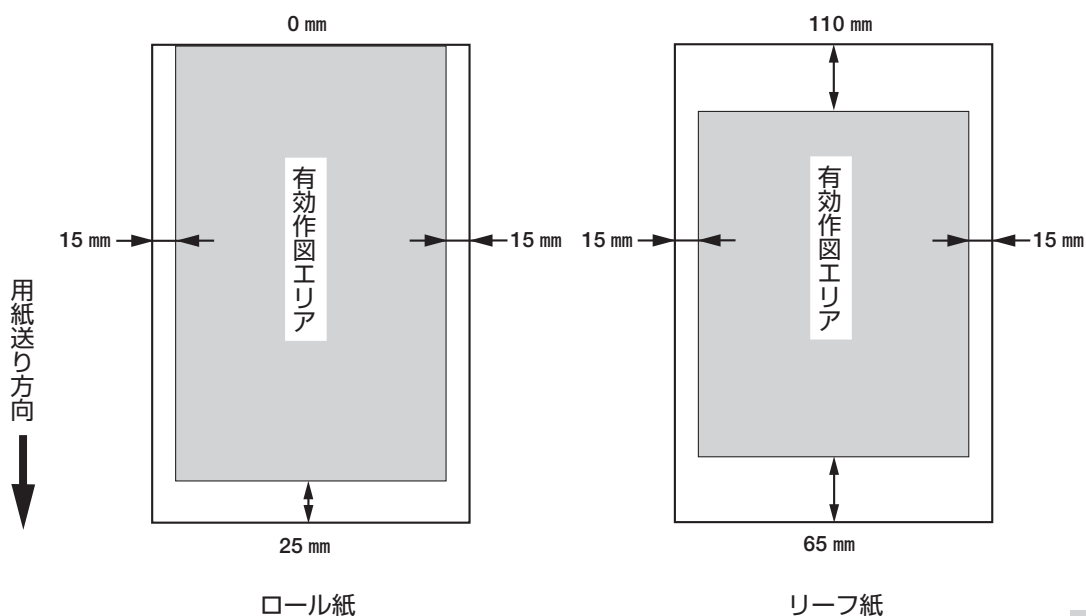
作図終了後、ファンが停止するまでの時間を設定します。再び作図を開始すると、ファンも回り始めます。（作図中は高速で回転します。）

キリカエ

現在の排気ファンの状態を切り替えます。
（HIGH、LOW、OFF）

作図範囲について

本装置は、使用するメディアに関係なく、機構上作図できないエリアがあります。
この作図不可のエリアを「デッドスペース」と呼びます。

< JV3-130S/160S >

● **有効作図エリアを変更する場合は・・・**
メディア左右のデッドスペースの初期値は、左右それぞれ 15 mm です。
このデッドスペースを変更し、有効作図エリアを変更することができます。
デッドスペースは、ファンクションモードの「マージン」で設定します。
(☞ P.4-8)

作図原点を設定する

セットしたメディア上に、データの作図原点を設定します。
指定された原点以外の場所で作図する場合は、原点を再設定します。

操作手順

1. メディア検出終了後、ジョグキー【▲】【▼】【◀】【▶】を押し、作図原点を設定する位置までキャリッジとメディアを動かします。

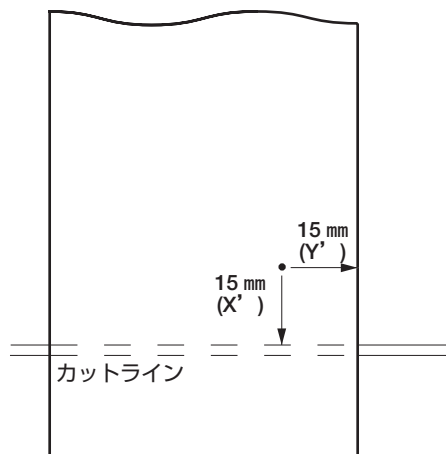
2. 作図原点を決定したら、【ENTER】キーを押します。

有効作図エリアを表示後、ローカルモードになります。（ロールメディアを使用の場合、X は表示しません。）

次回作図を開始する場合は、この設定位置を作図原点とします。

原点設定位置の目安

作図原点は、右図のようにカットラインから奥側 15 mm の位置になります。

横方向(Y')の値は、ファンクションモードの「マージン」の設定により変更できます。(P.4-8)

5章
メンテナンス機能

本装置を適正にお使いいただくよう、メンテナンスをしましょう。
作図品質の悪化の解決や、裁断用カッター刃の交換方法に関する機能を説明します。
本装置の維持や、使用を一定期間停止する場合にもメンテナンスを行ってください。

本章の内容

メンテナンスについて

メンテナンスは、本装置を適正にお使いいただくためのお手入れに関する操作をいいます。
メンテナンスは、ファンクションメニューの[メンテナンス]を選択し、各詳細を設定してから実行します。

メンテナンス機能の導入

メンテナンス機能を実行する場合、操作パネル上で以下の操作が必要です。
メンテナンス機能への導入操作を覚え、各メンテナンスを実行します。

操作手順

① プロッタの設定が､ローカルモードになっていることを確認します。

②【FUNCTION】キーを押します。

③ ジョグキー【▲】【▼】を押して､[メンテナンス]を選びます。

④【ENTER】キーを押します。

⑤ 次の操作を選択します。
各メンテナンス機能を設定して、メンテナンスを実行します。
☞ P.5-3

設定機能一覧

各機能の概要と設定値について説明します。

機能名称	概　　要	☞
ステーションメンテ	ステーション内部の清掃、ワイパ交換などを行う （キャリッジアウト、ワイパコウカン、ノズルセンジョウ）	P.5-4
テイキ　ワイピング	ノズル面の結露を除去する	P.5-5
ドットイチホセイ	ヘッド高さのタカイ / ヒクイ別に ドット位置を補正する	P.5-9
インクジュウテン	「ヘッドクリーニング」、「ノズルセンジョウ」しても ノズル詰まりが復旧しない場合に行う機能	P.5-11
センジョウ	「ヘッドクリーニング」、「ノズルセンジョウ」しても ノズル詰まりが復旧しない場合に行う機能	P.5-11
ハイロセンジョウ	インクの排出路内（インクキャップから廃インクタンクまで） の洗浄機能	P.5-13
スリープ CLEAN	ノズル詰まりを防止するために、フラッシング動作と ヘッドクリーニングを行う機能	P.5-15
ホカンセンジョウ	１週間以上しない場合、プリンタを保管する前に行う 洗浄機能	P.5-16
リスト	本装置の設定状態を作図する	P.5-17
データダンプ	コンピュータから送信されるデータを HEX コードで 作図する	P.5-19
ワイパレベル	使用環境により、ワイパ交換時期の警告を早めに促す 設定を行う	P.5-20
ジコクセッテイ	本体内蔵カレンダーの日付、時刻を設定する	P.5-21
マシンジョウホウ	本装置のファームウェアバージョン、シリアル番号、 ディーラー番号を表示する	P.5-22

ステーション内の清掃[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]-[ｷｬﾘｯｼﾞｱｳﾄ]

ステーション内部の清掃や、消耗品の交換などを行う際にキャリッジを移動します。

★ キャリッジは、手でキャッピングステーションから出さないでください。
キャリッジは操作キーを使用して動かします。

[ステーションメンテ]には、以下の項目があります。

キャリッジアウト　：ステーション内部の掃除のためにキャリッジを移動します。

ワイパコウカン　：ワイパ交換の表示が出たら、ワイパを交換します。 P.5-5

ノズルセンジョウ　：洗浄キットでノズルをクリーニングします。 P.3-7

操作手順

① [キャリッジアウト]を選択すると、キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。

```
ステーション　メンテ
メンテ　　　　：キャリッジアウト
```

② フロントカバーを開けて、以下のメンテナンスを行います。

1.　インクキャップのクリーニング キャップのゴムに付着したインク等を綿棒で拭き取ります。 P.3-4
2.　ワイパのクリーニング ワイパを取り出し、付着したインクを綿棒で取り除きます。 P.3-4
3.　ワイパカバーのクリーニング ワイパカバーの天井に付着したインクを綿棒で取り除きます。 P.3-4
4.　裁断用カッター刃の交換 カッター刃は消耗品です。 切れが悪くなったら、新しいカッター刃に交換してください。 P.5-23

ワイパ交換のメッセージを表示したら[ステーションメンテ]-[ワイパ゜コウカン]

ワイパーは消耗品です。以下の表示が出たら、速やかにワイパを交換してください。

<ローカル>
ワイパコウカンシテクダサイ

同時に、スライダー下面に付着したインクをクリーニングします。

● クリーニングワイパは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

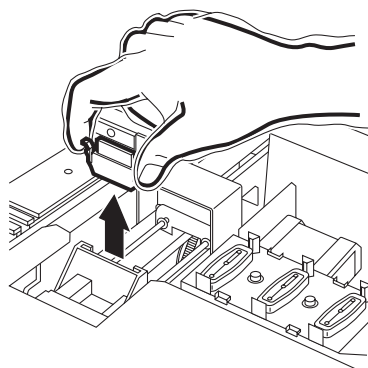
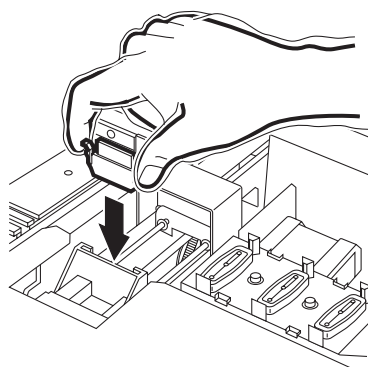
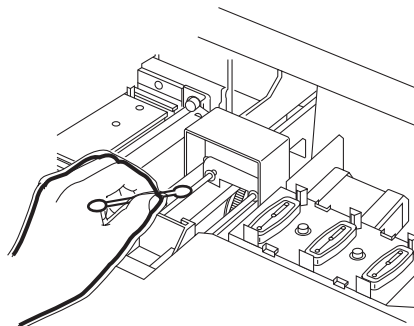
★ ワイパを交換する時以外は、[ワイパコウカン]を選択しないでください。本装置内部で管理しているワイパ使用回数がリセットしてしまいます。

操作手順

① [ワイパコウカン]を選択すると、キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。

ステーション　メンテ
メンテ　　　　：ワイパコウカン

② フロントカバーを開けて、ワイパを交換します。

③ 両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。
クリーニングワイパセットの手袋をすると、手が汚れません。

④ 両端の突起を持って新しいワイパを差し込みます。

⑤ ワイパのガイド軸を綿棒、または布等でクリーニングします。
汚れが落ちにくい場合は、綿棒にメンテナンス洗浄液 RS を湿らせてクリーニングします。

⑥ フロントカバーを締めて、【ENTER】キーを押します。

ショキカチュウ
シバラクオマチクダサイ

⑦ ローカルモードに戻ります。

<ローカル>

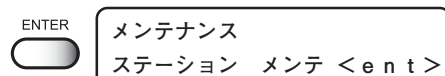
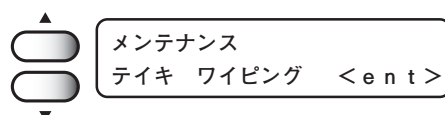
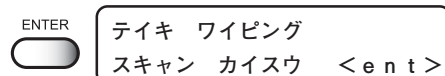
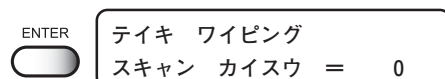
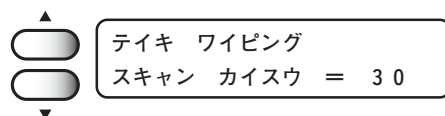
作図中のワイピング動作の設定[ﾃｲｷ ﾜｲﾋﾟﾝｸﾞ]

プリントヒーターを高温に設定したとき、または 打ち込みインク量を多めに設定にしたとき（高濃度、 2 度塗り等）に、プリント途中で しぶき、ぼた落ち、またはノズル抜けが発生する場合があります。
これは、プリント直後のインクがプリントヒーターで加熱され、揮発した溶剤成分がノズル面に結露してしまうことが原因です。
またプリントヒーターの設定温度と外気温度との差が大きいほど結露しやすくなります。
この機能はプリント中、一定間隔でノズル面をワイピングし 結露を取り除きます。

操作手順

① 【FUNCTION】キーを 1 回押します。

② ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

③ 【ENTER】キーを押します。
[ステーション　メンテ]を表示します。

④ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[テイキ　ワイピング]を選びます。

⑤ 【ENTER】キーを押します。
[スキャン　カイスウ]を表示します。

⑥ 【ENTER】キーを押します。

⑦ ジョグキー【▲】【▼】を押して、スキャン回数を入力ます。
0 〜 9990 回

- スキャン回数の初期値は 0（実行しない）です。使用状況に応じて設定値を変更してください。
ヒーターを高温（50℃以上）に設定した場合や、 2 度塗り等打ち込みインク量が多い場合は、30 〜 50 回が目安です。

⑧【ENTER】キーを押します。
[スキャン　カイスウ]を表示します。

⑨ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[オンド　サ]を選びます。

⑩【ENTER】キーを押します。

⑪ ジョグキー【▲】【▼】を押して、温度差を入力ます。

- プリントヒーターの温度設定が外気温度よりも高く、その差が設定した温度差以上になった場合に、定期ワイピング機能が有効になります。

⑫【ENTER】キーを押します。
[オンド　サ]を表示します。

⑬【END】キーを押します。
[テイキ　ワイピング]を表示します。

END

メンテナンス
テイキ　ワイピング　＜ent＞

⑭【END】キーを 2 回押します。
ローカルモードに戻ります。

メディアの厚みが変わったら[ﾄﾞｯﾄｲﾁﾎｾｲ]

作図の往路と復路のインク落下点の位置を補正します。
ドット位置補正は、現在のヘッドの高さ（高い／低い）に合わせて 2 種類の登録が可能です。
ヘッドの高さが高いときと低いときでは、適正位置に微妙にズレが生じます。ドット位置補正を実行して、適正な作図結果を得られるようにします。
ドット位置補正は、7 パターンのテスト作図の「往路」と「復路」のインク落下点を比較して補正します。

★ ロールメディアをお使いの場合、ドットイチホセイを終了すると作図原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。作図をする前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良等の原因になります。

操作手順

① [ドットイチホセイ]を選択します。

メンテナンス
ドットイチホセイ　　　　< ent >

②【ENTER】キーを押します。

ENTER

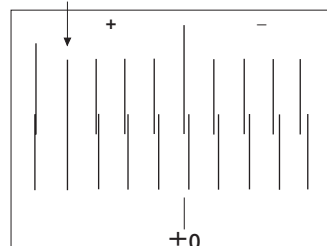
メンテナンス
ヘッドタカサ　　　　：ヒクイ

③ ジョグキー【▲】【▼】を押して、ヘッド高さを選びます。
選択可能な高さは 2 種類あります。
[ヒクイ]、[タカイ]
ここでは実際のヘッド高さを確認後選択してください。

④【ENTER】キーを押します。
ドット位置補正のテストパターン作図を開始します。テストパターンは 7 種類作図します。

⑤ ジョグキー【▲】【▼】を押して、パターン 1 のドット位置補正をします。
出力した 7 パターンは、作図した順にパターン 1 から 7 と呼びます。
パターン 1 の適正なドット位置をジョグキーで選択します。
テストパターンの往路と復路が、1 本の直線になっている位置を選びます。

★ 直線のパターンの補正値が、-40 から +40 の中にない場合は、ヘッドの高さ調整をしてから、もう一度、ドット位置補正を実行してください。

プラス方向に0位置から4本目が直線で表示しています。この場合のドット位置補正値は4.0です。

⑥【ENTER】キーを押します。

⑦ 手順⑥⑦の操作を再実行し、続けてパターン2から７のドット位置補正をします。
各パターンの適正ドット位置を選択します。
パターン７までドット位置補正値を入力し、ドット位置補正を終了します。

⑧【END】キーを２回押すと、ローカルモードに戻ります。

ドット位置補正を終了したら、設定機能のタイプ別にあるヘッドタカサ（ヒクイ／タカイ）を選択してください。
ここで入力したヘッドタカサ（ヒクイ／タカイ）の補正値が有効になります。

P.4-10

ヘッドクリーニングでもノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニング（ P.2-23）、ノズルセンジョウ（ P.3-7）を行ってもノズル詰まりが改善しない場合、以下の２機能を実行します。

1. [インクジュウテン]　：インクを充填します。
2. [センジョウ]　：専用の洗浄液（別売）でヘッド、チューブ、ダンパを洗浄します。

[インクジュウテン]

① [インクジュウテン]を選択します。

メンテナンス
インクジュウテン　< ent >

②【ENTER】キーを押します。
自動的にインク充填を開始します。

ENTER

ジュウテンチュウ
＊＊＊＊＊−−−−−−−−−−

③ インク充填を終了すると、右の表示に戻ります。

メンテナンス
インクジュウテン　< ent >

④【END】キーを２回押すと、ローカルモードに戻ります。

<ローカル>
ハバ：１２７２mm

[センジョウ]

● 洗浄液カートリッジ(SPC-0335)は、お近くの販売店または弊社営業所にてお求めください。

① [センジョウ]を選択します。

メンテナンス
センジョウ　< ent >

②【ENTER】キーを押します。

センジョウ
カートリッジヲハズス

③ インクカートリッジを外します。
充填してあるインクを廃インクタンクへ排出します。

④ 右の表示になったら、洗浄液カートリッジをセットします。
洗浄液を吸引します。

センジョウ
センジョウジグヲセット

⑤ 右の表示になったら､洗浄液カートリッジを外します。
空吸引します。

センジョウ
センジョウジグヲハズス

⑥ 右の表示になったら、洗浄液カートリッジをセットします。
洗浄液を吸引します。

センジョウ
センジョウジグヲセット

⑦ 右の表示になったら､洗浄液カートリッジを外します。
吸引した洗浄液を廃インクタンクへ排出します。

センジョウ
センジョウジグヲハズス

⑧ 全行程が終了すると、右の表示になります。

END

メンテナンス
センジョウ ＜ ent ＞

⑨【END】キーを２回押すと、ローカルモードに戻ります。

＜ローカル＞
ハハ゛：１２７２mm

インク排出路の洗浄について[ﾊｲﾛ ｾﾝｼﾞｮｳ]

インクの排出路内において、インクの凝固によるインク詰まりが発生する場合があります。
このインク詰まりを防止するために、排出路内を洗浄します。

★ 清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは操作キーを使用して動かします。

用意するもの：

- メンテナンス用洗浄液 RS（SPC-0336）
- スポイト
- 手袋、ゴーグル

操作手順

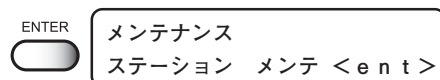
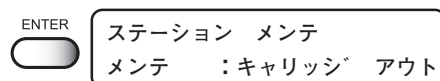
①【FUNCTION】キーを 1 回押します。

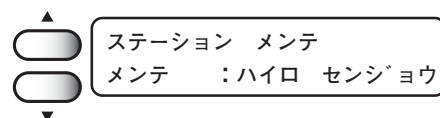
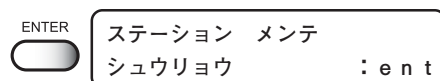
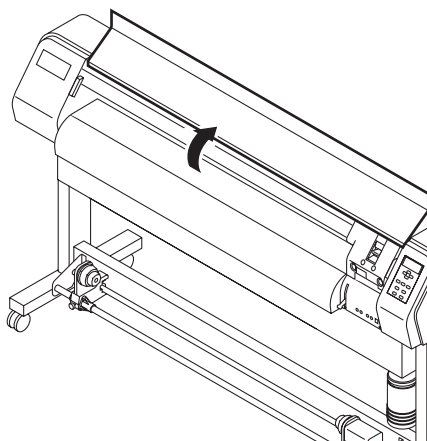
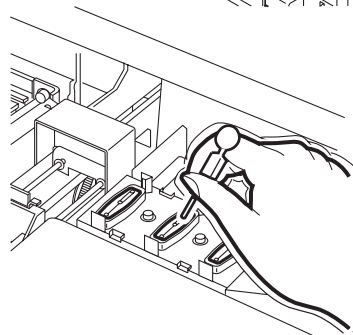
② ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

FUNCTION
メンテナンス　<ENT>

③【ENTER】キーを押します。
[ステーション　メンテ]を表示します。

ENTER
メンテナンス
ステーション　メンテ　<ent>

④【ENTER】キーを押します。
[キャリッジ　アウト]を表示します。

ENTER
ステーション　メンテ
メンテ　：キャリッジ　アウト

⑤ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ハイロ　センジョウ]を選びます。

ステーション　メンテ
メンテ　：ハイロ　センジョウ

⑥【ENTER】キーを押します。
キャリッジがプラテン上に移動します。
空吸引動作が始まります。吸引動作を 5 秒、停止時間が 1 0 秒をそれぞれ交互に動作し続けます。

⑦ フロントカバーを開けます。

⑧ スポイトでメンテナンス洗浄液 RS をとります。空吸引が停止している間に、キャップからあふれる寸前までメンテナンス洗浄液RSを垂らします。
すべてのキャップに対して同様にメンテナンス洗浄液 RS を垂らします。

⑨ フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。
３０秒間空吸引を実行した後、ローカルモードになります。

ショキカ　チュウ
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ

＜ローカル＞

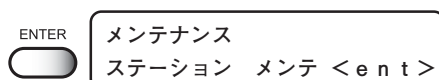
スリープクリーニングについて [ｽﾘｰﾌﾟ CLEAN]

電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まりを防止するために、一定時間間隔でヘッドからインクを吐出します。この時、同時にヘッドのクリーニング動作を実行するための動作間隔時間を設定します。

操作手順

①【FUNCTION】キーを 1 回押します。

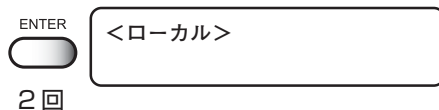
② ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

③【ENTER】キーを押します。
[ステーション　メンテ]を表示します。

④ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[スリープ CLEAN]を選びます。

⑤【ENTER】キーを押します。

⑥ ジョグキー【▲】【▼】を押して、間隔時間を選びます。
4h, 8h, 12h, 24h, OFF

⑦【ENTER】キーを押します。
[スリープ　CLEAN]を表示します。

⑧【END】キーを 2 回押します。
ローカルモードに戻ります。

長期間使用しない場合[ﾎｶﾝ ｾﾝｼﾞｮｳ]

１週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。
その後、本装置を保管してください。

用意するもの：

- メンテナンス用洗浄液 RS（SPC-0336）、スポイト
- 手袋、ゴーグル

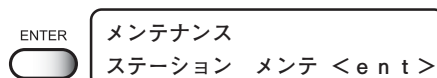
操作手順

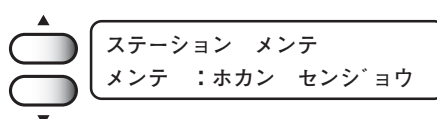
① 【FUNCTION】キーを１回押します。

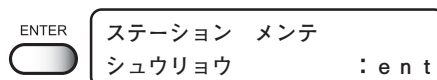
② ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

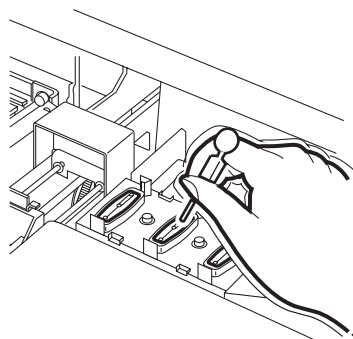
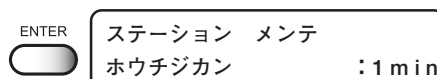
FUNCTION
メンテナンス　<ENT>

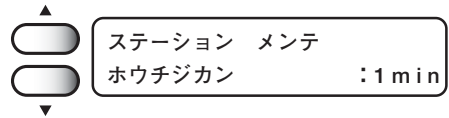
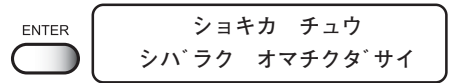
③ 【ENTER】キーを押します。
[ステーション　メンテ]を表示します。

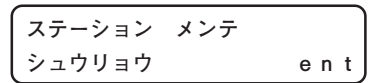
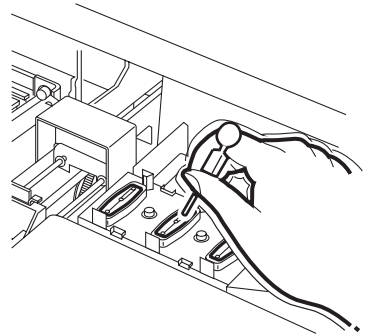
ENTER
メンテナンス
ステーション　メンテ　<ent>

④ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ホカン　センジョウ]を選びます。

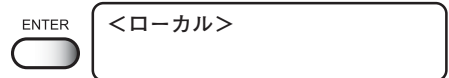
ステーション　メンテ
メンテ　：ホカン　センジ゛ョウ

⑤ 【ENTER】キーを押します。
ヘッドがプラテン上に移動します。

ENTER
ステーション　メンテ
シュウリョウ　：ent

⑥ フロントカバーを開けます。

⑦ スポイトでメンテナンス洗浄液 RS をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。
すべてのキャップに対して行います。

⑧ フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。

⑨ ジョグキー【▲】【▼】を押して、放置する時間を選びます。(1～99分：1分単位)
通常は「1分」に設定します。

ステーション　メンテ
ホウチジカン　　　　：1min

⑩ フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。
ノズルの洗浄を実行します。

⑪ ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。
フロントカバーを開けます。

ステーション　メンテ
シュウリョウ　　　　ent

⑫ スポイトでメンテナンス洗浄液RSをとり、キャップ一杯になるまで垂らします。
空吸引動作は断続的に行っているため、数回この作業を繰り返し、インクの排路をクリーニングします。
すべてのキャップに対して行います。

⑬ フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。
ヘッドが、ステーションに戻り、ローカルモードになります。

設定条件を印刷する[ﾘｽﾄ]

本装置の設定状態を出力します。メンテナンスの参考にしてください。

1. ファンクション機能の設定[セッテイ]に関する情報
2. メンテナンス機能のドット位置補正[ドットイチホセイ]情報
3. 各インクカートリッジの交換回数
4. 本装置で使用中のファームウェアのバージョン情報
5. 保守（サービスマン用）に必要な各設定値

```
    LIST   (System Ver1.00)   (I/F Ver1.40)   S/N : 00000000
(1) ｾｯﾃｲ            ﾀｲﾌﾟ1           <  ﾀｲﾌﾟ2 >          ﾀｲﾌﾟ3            ﾀｲﾌﾟ4
  ﾒﾃﾞｨｱ ﾎｾｲ      0         :ﾎｽﾄ     100       :ﾎｽﾄ     0         :ﾎｽﾄ     0         :ﾎｽﾄ
  ﾋｰﾀｰ   ﾌﾟﾘ     OFF       :ﾎｽﾄ     200       :ﾎｽﾄ     OFF       :ﾎｽﾄ     OFF       :ﾎｽﾄ
         ﾌﾟﾘﾝﾄ   OFF                20                 OFF                OFF
         °C/°F   °C                 °C                 °C                 °C
         ｽﾀﾝﾊﾞｲ  0min               10min              0min               0min
         OFF     0min               30min              0min               0min
  ｻｸｽﾞ ﾎｳｼｷ      ﾋｮｳｼﾞｭﾝ :ﾊﾟﾈﾙ      ﾊﾔｲ       :ﾊﾟﾈﾙ    ﾋｮｳｼﾞｭﾝ :ﾎｽﾄ       ﾋｮｳｼﾞｭﾝ :ﾎｽﾄ
     ﾎｳｺｳ        ﾀﾝﾎｳｺｳ             ﾀﾝﾎｳｺｳ             ﾀﾝﾎｳｺｳ             ﾀﾝﾎｳｺｳ
     ﾛｼﾞｶﾙｼｰｸ    ON                 ON                 ON                 ON
  ｶｻﾈﾇﾘ          1         :ﾎｽﾄ     1         :ﾎｽﾄ     1         :ﾎｽﾄ     1         :ﾎｽﾄ
  ｶﾝｿｳ ｼﾞｶﾝ      0.0s  0s:ﾎｽﾄ       0.0s  0s:ﾎｽﾄ       0.0s  0s:ﾎｽﾄ       0.0s  0s:ﾎｽﾄ
  ｵｰﾄ ｶｯﾄ        OFF       :ﾎｽﾄ     OFF       :ﾎｽﾄ     OFF       :ﾎｽﾄ     OFF       :ﾎｽﾄ
  ﾏｰｼﾞﾝ  ﾐｷﾞ     0mm                0mm                0mm                0mm
         ﾋﾀﾞﾘ    0mm                0mm                0mm                0mm
  ｶﾗｰﾊﾟﾀｰﾝ       OFF                ON                 OFF                OFF
  ﾘﾌﾚｯｼｭ         ﾚﾍﾞﾙ3     :ﾎｽﾄ     ﾚﾍﾞﾙ3     :ﾎｽﾄ     ﾚﾍﾞﾙ3     :ﾎｽﾄ     ﾚﾍﾞﾙ3     :ﾎｽﾄ
  ﾒﾃﾞｨｱ ｹﾝｼｭﾂ    ｾﾚｸﾄ               ｾﾚｸﾄ               ｾﾚｸﾄ               ｾﾚｸﾄ
  ｷｭｳﾁｬｸ         ﾋｮｳｼﾞｭﾝ            ﾋｮｳｼﾞｭﾝ            ﾋｮｳｼﾞｭﾝ            ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
  ﾐﾘ/ｲﾝﾁ         ﾐﾘ                 ﾐﾘ                 ﾐﾘ                 ﾐﾘ
  ｽﾀﾝﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ     OFF                ON                 OFF                OFF
        ﾀｲﾑ      OFF                ON                 OFF                OFF
  ｵｰﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ     OFF                OFF                OFF                OFF
(2) ﾜｲﾊﾟﾚﾍﾞﾙ     1/1
(3) ﾊｲｷ ﾌｧﾝ      OFF
(4) DISPLAY      Japanese
(5) ﾄﾞｯﾄ ｲﾁ ﾎｾｲ     ﾊﾟﾀｰﾝ1             ﾊﾟﾀｰﾝ2             ﾊﾟﾀｰﾝ3             ﾊﾟﾀｰﾝ4
                     0.0                0.0                0.0                0.0
                    ﾊﾟﾀｰﾝ5             ﾊﾟﾀｰﾝ6             ﾊﾟﾀｰﾝ7
                     0.0                0.0                0.0
(6) ﾗﾝﾆﾝｸﾞﾒｰﾀｰ
  ｶｰﾄﾘｯｼﾞ        1: 87   2: 53   3: 42   4: 65   5: 58   6: 29
  ｻﾞﾝﾘｮｳ         1: 66%  2: 67%  3: 83%  4: 100% 5: 65%  6: 65%
  ｼｮｯﾄ ｶｳﾝﾄ      1: 1883         2: 1272         3: 1426
                 4: 1351         5: 1909         6: 1806
  ｽｷｬﾝ ｶｲｽｳ      1                 (x1000)
  ｻｸｽﾞ ﾒﾝｾｷ      5m²     53sq.ft.
  ｼﾖｳ ｼﾞｶﾝ       31h
  ｽﾘｰﾌﾟﾘﾌﾚｯｼｭ    0       0h9m
  Date : 02.10.04 23:36
```

HEX コードで印刷する[ﾃﾞｰﾀﾀﾞﾝﾌﾟ]

コンピュータから受信したデータコマンドを、HEX コードで作図します。
HEX コードとは、作図コマンドを英数コードで表記した物です。
出力結果を見て、データコマンドに異常がないかを確認します。

★ データダンプをリーフメディアに出力する場合は、A4 縦置きサイズ以上のメディアを使用してください。

● データダンプは、使用するメディアサイズに合わせて、自動改行して作図します。

```
   ﾃﾞｰﾀ ﾀﾞﾝﾌﾟ   Ver 1.00
1B 40 4D 44 D0 02 D0 02 4D 50 08 01 FF 00 00 00  00 00 00 4D 59 FF 4D 43 00 09 09 09 0D 1B 69 00  00 01 28 04 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
0D 1B 69 11 00 01 28 04 01 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 09 09 0A 09 09 09 0D 1B 69 00 00 01 28 04  01 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  00 00 00
```

ワイパ寿命の警告表示[ﾜｲﾊﾟﾚﾍﾞﾙ]

ワイパは消耗品です。ホコリの多い環境などでは、ヘッドが汚れやすくなります。また、曲がったり摩耗したワイパではクリーニング効果が得られません。環境により、ワイパ交換時期の警告を標準より早期に促します。

1/1：　標準のワイピング回数でワイパ交換の警告を表示します。（初期値）
1/2：　標準の 1/2 回でワイパ交換の警告を表示します。
1/3：　標準の 1/3 回でワイパ交換の警告を表示します。
1/4：　標準の 1/4 回でワイパ交換の警告を表示します。

時刻を設定する[ジコクセッテイ]

本装置はカレンダーを内蔵しています。セッテイ項目の[タイムスタンプ]機能は、この設定により、日付、時刻を表示します。☞ P.4-9

操作手順

① [ジコクセッテイ]を選びます。

```
メンテナンス
ジコクセッテイ          < ent >
```

②【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
メンテナンス
DATE        = 2 0 0 2.1 0.0 2
```

③ 日付を設定します。
ジョグキー【◀】【▶】を押して、左右の桁を移動します。ジョグキー【▲】【▼】を押して、値を変更します。

④ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[TIME]を選びます。

```
メンテナンス
TIME         = 1 6 : 2 0 : 0 7
```

⑤ 時刻を設定します。
ジョグキー【◀】【▶】を押して、左右の桁を移動します。ジョグキー【▲】【▼】を押して、値を変更します。

⑥【ENTER】キーを押します。

```
メンテナンス
DATE        = 2 0 0 2.1 0.0 2
```

⑦ 設定した日付を表示します。
ジョグキー【▲】【▼】を押すと、設定した時刻を表示します。

⑧【END】キーを2回押すと、ローカルモードに戻ります。

```
<ローカル>
          ハバ゛: 1 2 7 2 mm
```

本装置の情報を表示する[ﾏｼﾝｼﾞｮｳﾎｳ]

本装置のファームウェアバージョン、シリアル番号、ディーラー番号を表示します。
トラブル発生時に、販売店または弊社営業所にこの情報とトラブル内容とをご連絡ください。
付録のお問い合わせシートをご利用していただくと、速やかに対処いたします。

操作手順

① [マシンジョウホウ]を選びます。

メンテナンス
マシンジョウホウ　＜ ent ＞

②【ENTER】キーを押します。

③ 再度、【ENTER】キーを押すと、ファームウェアバージョンを表示します。

④ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[シリアルNo.]を選びます。

⑤【ENTER】キーを押すと、本装置のシリアル番号を表示します。

⑥ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ディーラーNo.]を選びます。

⑦【ENTER】キーを押すと、本装置のディーラー番号を表示します。

⑧【END】キーを２回押すと、ローカルモードに戻ります。

カッター刃の交換

カッター刃は消耗品です。切れ味が悪くなってきたら、新しいカッター刃(SPA-0107)に交換してください。

★ 刃先は鋭利です。ケガをしないようご注意ください。

★ カッター刃は、子供の手の届かないところに保管してください。
また、使用済みのカッター刃は、地域の条例に従い廃棄してください。

● カッター刃の下に用紙を敷いておくと、刃先が落ちた時に拾いやすくなります。

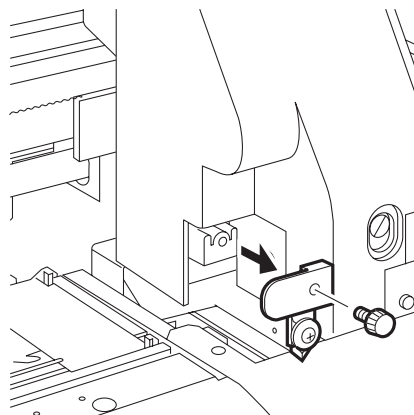
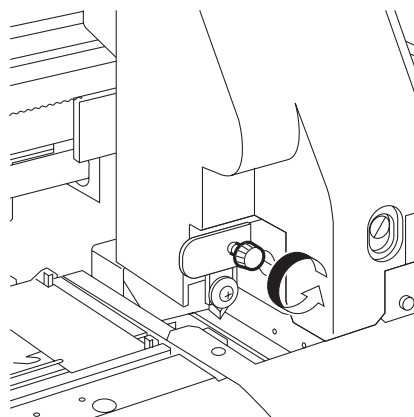
操作手順

① [キャリッジアウト]を実行します。

P.5-4

② フロントカバーを開けます。

③ キャリッジ横のカッターユニットを交換します。

1. カッターユニットのネジを緩めます。
2. カッターユニットを取り外します。
3. 新しいカッターユニットを取り付けます。
4. カッターユニットのネジを締めて、カッターユニットを固定します。

④ フロントカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。

⑤ ローカルモードに戻ります。

6章
困ったときは

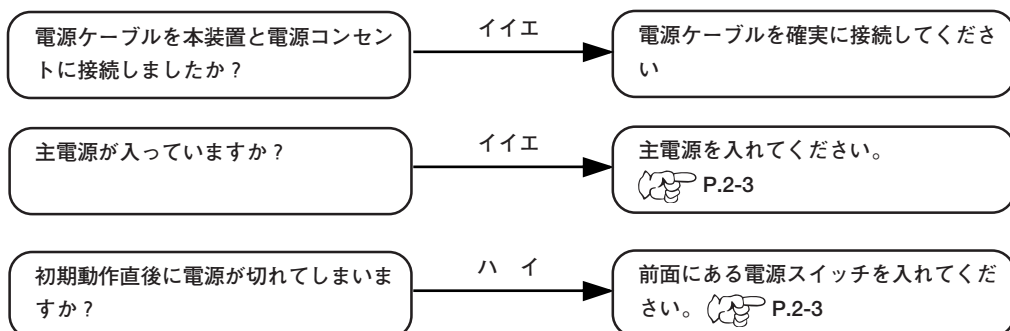
6章では、本装置になんらかの異常が発生した場合や、エラーメッセージを表示した場合のトラブル解消方法について説明します。

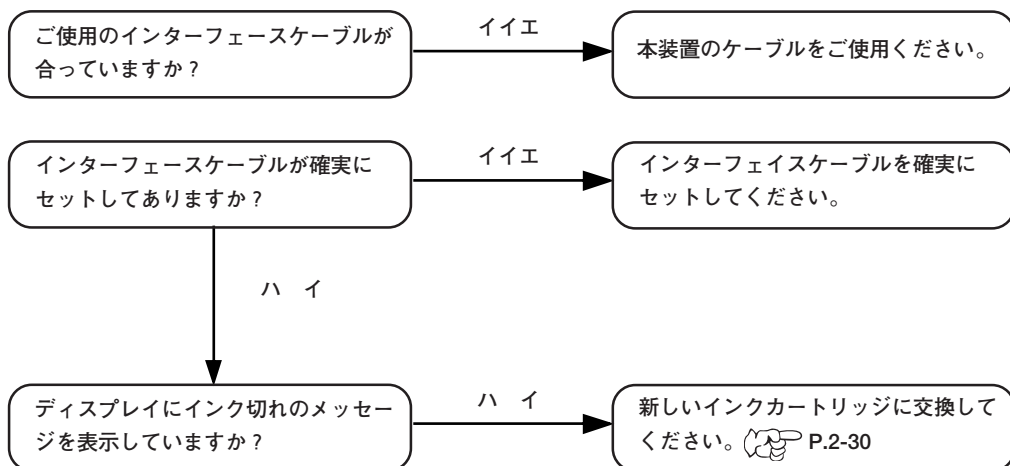
本章の内容

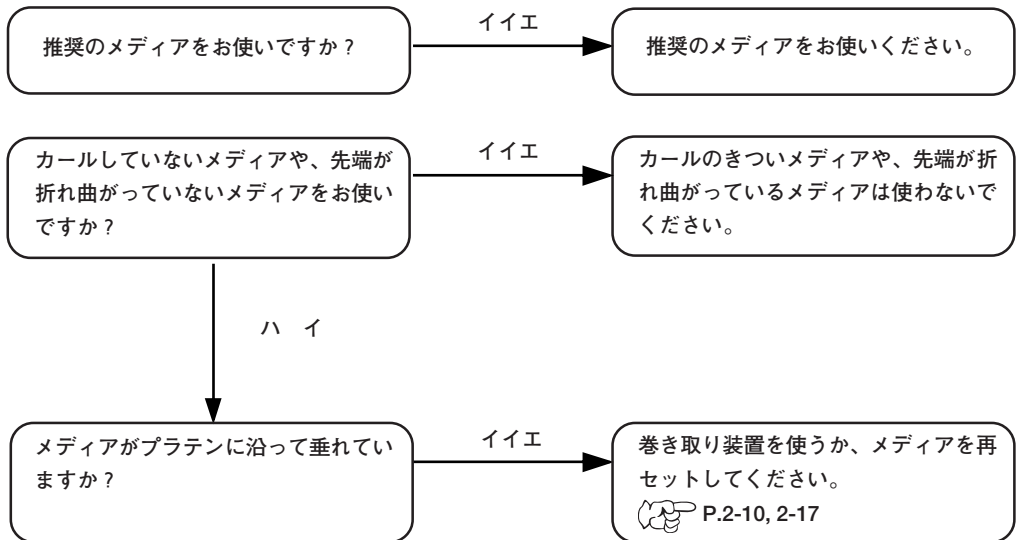
故障？と思う前に

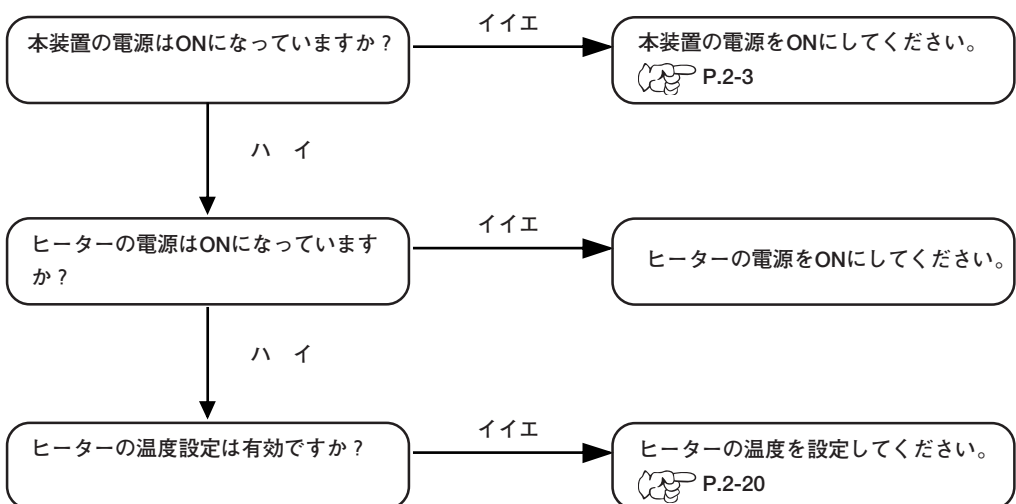
ディスプレイにエラーメッセージが表示されないときのトラブルの対処方法について説明します。故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。

作図できない

作図ができない場合は、データが適正に本装置に送られていない場合があります。
また、作図機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。

メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。

[HEAT]ランプ ,[CONSTANT]ランプが点灯しない

基本操作を確認してください。

画質不良が発生した場合は

ここでは、作図品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡（サービスコール）ください。

白スジ／カスレ / 色の濃いスジが発生する（ヘッド移動方向）

対処方法　：①　ヘッドクリーニングをしてください。P.2-23

②　ステーション内部のメンテナンスをしてください。P.3-4 ～ 3-7, 5-4

③　「メディア補正」機能を実行してください。P.2-25

④　メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。

文字が用紙送り方向に２重、３重にブレる

対処方法　：「メディア補正」機能を実行してください。P.2-25

往復印字でズレが発生する

対処方法　：「ドット位置補正」機能を実行してください。P.5-9

色ごとにインクが重ならない

対処方法　：「ドット位置補正」機能を実行してください。P.5-9

作図中にインク滴が落ちる

対処方法　：①　ワイパをクリーニングしてください。P.3-4

②　インクキャップのクリーニングをしてください。P.3-4

③　ヘッドクリーニングの[ノーマル]を実行してください。P.2-24

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。
メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングエラー

主にヒーター、インク関連に対して発生します。

エラーメッセージ	原　　因	対処方法
＜ローカル＞ カートリッジ　KMCYmc	装着したインクカートリッジに問題があります。	【ENTER】キーを押すと、エラーの詳細を表示します。確認してください。
＜ローカル＞ ニアエンド　KMCYmc	インクカートリッジのインク残量が少なくなりました。	【REMOTE】キーを押すと、１ファイルごと作図できます。表示している色のインクカートリッジを早めに交換してください。
＜ローカル＞ インクエンド　KMCYmc	インクカートリッジのインクが終わりました。	表示している色のインクカートリッジを交換してください。
＜ローカル＞ インクキゲン　KMCYmc	インクカートリッジの有効期限が切れています。あるいは、有効期限が切れかかっています。	【REMOTE】キーを押すと、作図ができます。表示している色のインクカートリッジを早めに交換してください。
＜ローカル＞ ワイパコウカンシテクダサイ	キャッピングステーションのワイパ交換時期です。	【REMOTE】キーを押すと、作図ができます。電源を入れる度にエラーを表示しますので、早めに新しいワイパと交換してください。
＜ローカル＞ テストサクズシテクダサイ	放置時間が長いため、ノズルの復旧が見込めません。	テスト作図を行ってください。ノズル抜けがひどい場合は、メンテナンスの[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ] - [ﾉｽﾞﾙｾﾝｼﾞｮｳ]を実行してください。
ヒジュンセイ　インク KMCYmc	インクカートリッジがミマキ純正品ではありません。	ミマキ純正品をお使いください。

エラーメッセージ	原　　因	対処方法
インク　IC　イジョウ KMCYmc	インクカートリッジのICチップが正常に読めませんでした。	表示している色のインクカートリッジを再挿入してください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
インク　シュルイ KMCYmc	装填したインクカートリッジの種類が、前回装填した種類と異なります。	装填したインクカートリッジの種類を確認してください。
インク　カラー KMCYmc	装填したインクカートリッジの色が、前回装填した色と異なります。	表示している色と装填したインクカートリッジの色を確認してください。
カートリッジ　イジョウ KMCYmc	装填したインクカートリッジが異常です。	装填したインクカートリッジに異常があります。確認してください。
カートリッジ　ナシ KMCYmc	インクカートリッジがインクステーションに取り付けてありません。	表示しているインクカートリッジをインクステーションに取り付けてください。
＊リモート＊　！ヒーター タイプ　＊　＊＊.＊＊m ＜ローカル＞　！ヒーター ハバ：＊＊＊＊m	プリヒーター、もしくはプリントヒーターで異常が発生しています。	【HEATER】キーを押すと、エラーの詳細を表示します。確認してください。
ヒーター　ノ　デンゲンガ ハイッテイマセン	ヒーターの電源がOFFになっています。	ヒーターの電源をONにしてください。再度表示するときは、サービスコールしてください。
Pre　４０▶４５℃ Print　ダンセン	プリントヒーターが断線しています。	販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
Pre　ダンセン Print　４３℃（４７）	プリヒーターが断線しています。	

エラーメッセージ	原　　因	対処方法
Pre　サーミスタ Print　５０▶４０℃	プリヒーターのサーミスタに異常があります。	販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
Pre　５５℃（４０） Print　サーミスタ	プリントヒーターのサーミスタに異常があります。	

エラーメッセージ

エラーメッセージは、エラー番号を表示します。
エラーメッセージを表示した場合は、電源をオフにしてしばらくたってから電源をオンにしてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡（サービスコール）ください。

エラーメッセージ	原　　因	対処方法
ERROR 01 MAIN ROM ERROR 02 MAIN RAM	制御基板に異常が発生しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 03 POWER +5V	制御基板に異常が発生しました。 POWER+5V POWER+35V	
ERROR 04 フラッシュ ROM ERROR 06 D-RAM	制御基板に異常が発生しました。	
ERROR 07 ヘッドーー＊ーーー	ヘッドの接続に異常を検出しました。	
ERROR 08 リニアエンコーダ n	リニアエンコーダの検出で異常が発生しました。	
ERROR 09 HDCエラー	制御基板に異常が発生しました。 FPGA エラー HDC エラー	
ERROR 10 コマンドエラー	コマンドデータ以外のデータを受信しました。 本装置に適合していないインターフェースケーブルが使われています。	インターフェイスケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェースケーブルを使用してください。

エラーメッセージ	原　　因	対処方法
ERROR　11 パラメータエラー	数値範囲外のパラメータを受信しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR　20 I/Fボード	I/F ボードと制御基板のインターフェースにエラーが発生しました。	
ERROR　21 I/Fナシ	I/F ボードが制御基板に装着されていません。	
ERROR　23 ホストI/F	ホストコンピュータとI/F ボードとの通信にタイムアウトエラーが発生しました。	ケーブルが確実に接続してあるか、またはホストコンピュータ側でエラーが発生していないか確認してください。
ERROR　24 I/Fイニシャル	I/F ボードと制御基板の初期動作不良です。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR　30 オペレーション　エラー	操作パネルで不当なオペレーションをしました。	正しいオペレーションをしてください。
ERROR　34 ミサクズデータアリ	受信済みで未作図のデータがあるのに、ファンクション機能の設定を変更しようとしています。	受信済みのデータを全て作図するか、データクリアを実行してから、設定機能を変更してください。

エラーメッセージ	原　　因	対処方法
ERROR　40 モーターアラームX	Xモーターに過大な負荷がかかりました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR　41 モーターアラームY	Yモーターに過大な負荷がかかりました。	
ERROR　42 Xオーバーカレント	Xモーターの過電流エラーを検出しました。	
ERROR　43 Yオーバーカレント	Yモーターの過電流エラーを検出しました。	
ERROR　46 ワイパ	ワイパの位置が適正ではありません。	
ERROR　50 メディアケンシュツ	用紙検出ができませんでした。メディアのセット位置、使用メディアが不適当です。	「メディアのセット」をご覧ください。 P.2-8 正しくセットしても、エラーを表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR　51 ゲンテンケンシュツ	原点検出ができませんでした。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。

付録

各種仕様や構成品、メニュー構造を示します。

本章の内容

本体仕様

項　目		JV3-130S	JV3-160S
作図ヘッド部	方式	ドロップオンデマンドピエゾヘッド	
	仕様	3ヘッド　インライン	
	ノズル構成	各色180ノズル	
	作図分解能	360, 540, 720, 1440 dpi	
作図モード		360 x 360 dpi : 2 / 4 / 8 pass, 双方向/単方向 360 x 540 dpi : 3 / 6 / 12 pass, 双方向/単方向 360 x 720 dpi : 4 / 8 / 16 pass, 双方向/単方向 720 x 720 dpi : 4 / 8 / 16 pass, 双方向/単方向 720 x 1440 dpi : 8 / 16 / 32 pass, 双方向/単方向 1440 x 1440 dpi : 16 / 32 pass, 双方向/単方向	
使用可能インク		専用ソルベントインク6色（B,C,M,Y,Lc,Lm) 1色あたり1カートリッジ	
インク供給		インクカートリッジからのチューブ供給 インク残量表示機能あり（IC搭載あり） インクエンド検出機能あり インクカートリッジ交換方式	
インク容量		各色（220 cc ± 5 cc） 1カートリッジあたり約200 cc使用可能	
使用可能メディア		ターポリン、FF、塩ビフィルム	
最大作図範囲		1440 x 1440 dpi : 1000 mm	
	標準ｽｷｬﾝ時	1361 mm	1610 mm
	高速ｽｷｬﾝ時	1321 mm	1570 mm
ロールメディアサイズ	最大幅	1371 mm	1620 mm
	最小幅	210 mm	
	厚さ	1.0 mm以下	
	ロール外径	φ 180 mm以下	
	ロール重量	25 kg以下（ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと）	
	紙管内径	2インチ, 3インチ	
	作図面	外側	
	巻終わり処理	紙管にテープ止め	
リーフメディアサイズ	最大幅	1371 mm	1620 mm
	最小幅	210 mm	
作図マージン	リーフメディア	左右：15 mm（初期値）　:ﾊﾟﾗﾒｰﾀｰにより可変（最小5 mmまで） 前：65 mm 後：110 mm	
	ロールメディア	左右：15 mm（初期値）　:ﾊﾟﾗﾒｰﾀｰにより可変（最小5 mmまで） 前：25 mm 後：0 mm	
距離精度	絶対精度	± 0.3 mmまたは指定距離の ± 0.3 %の大きい方	
	再現性	± 0.2 mmまたは指定距離の ± 0.1%の大きい方	
直角度		± 0.5 mm/1000 mm	

項　目		JV3-130S	JV3-160S
メディアスキュー		5 mm 以下 / 10 m	
ヘッド高さ調整		2.0 mm/3.0 mm（プラテン面より）: 2 段階調整	
メディア裁断		ヘッド部カッターによる Y 方向カット 裁断精度（段差）0.5 mm 以下	
排紙		ロール巻取り装置標準（内巻き / 外巻き　切り替え可能）	
廃インクタンク		ボトル式（2 リットル 1 本） 目視による交換時判断	
インターフェース		IEEE1394 準拠 , IEEE1284 準拠	
コマンド		MRL-II（バリアブルドット対応） <ESC/Pﾚﾍﾞﾙ2ﾍﾞｰｽ　ミマキオリジナルコマンド＞	
騒音	待機時	58 dB 以下(FAST-A, 前後左右 1 m)	
	動作連続音	65dB 以下	
	動作不連続音	70 dB 以下	
適合規格		UL, VCCI-classA, FCC ClassA, CEﾏｰｷﾝｸﾞ, CBﾚﾎﾟｰﾄ, CCC	
電源仕様		AC100 V ～ 120 V ± 10 %, AC 200 V ～ 240 V ± 10 % 50/60 Hz ± 1 Hz	
消費電力		1KVA 以下（本体とヒーター含む）	
設置環境	使用可能温度	20 ℃ ～ 35 ℃	
	相対湿度	35 ～ 65 %Rh (結露なきこと)	
	精度保証温度	20 ℃ ～ 25 ℃	
	温度勾配	± 10 ℃/h 以下	
	粉塵	オフィス相当	
重量	本体	130 kg	140 kg
	全体	145 kg 以下	155 kg 以下
外形寸法	幅	2210 mm	2470 mm
	奥行き	850 mm 以下（フロント排気ユニット無時 : 640 mm 以下）	
	高さ	1210 mm 以下	

インク仕様

項目		仕様
形態		専用ソルベントインクカートリッジ
色		ブラックインクカートリッジ
		シアンインクカートリッジ
		マゼンタインクカートリッジ
		イエローインクカートリッジ
		ライトシアンインクカートリッジ
		ライトマゼンタインクカートリッジ
インク容量		220cc/ カートリッジ
有効期間		製造日より 1 年間（常温） 開封から 3 カ月以内
保存温度	保存時	-30℃～ 40℃（40℃の場合 1 カ月以内）
	輸送時	-30℃～ 60℃ （60℃の場合 120 時間以内、40℃の場合 1 カ月以内）

★ インクは長時間放置すると凍結する場合があります。万一、凍結した場合は、室温（25℃）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。

★ インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。

警告ラベルについて

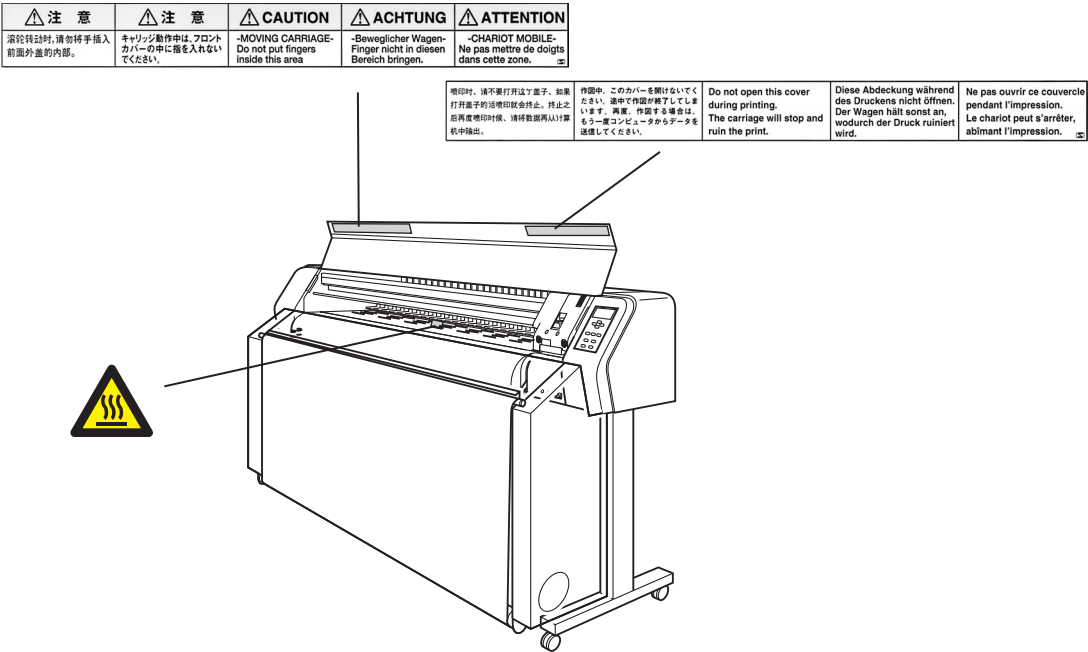
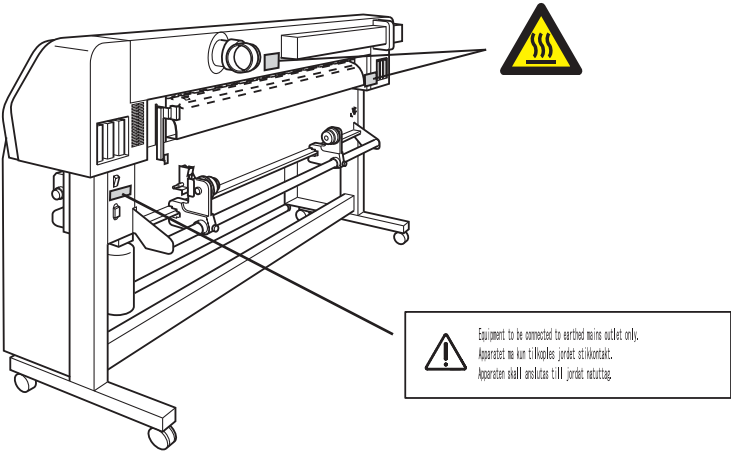
本装置には、警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。

ラベルの位置

前面

背面

付

録

お問い合わせシート

プリンターの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、巻末の弊社営業所まで FAX でお送りください。

御社名	
ご担当者名	
電話番号	
プリンター機種名	
お使いの OS	
マシーン情報 *	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

* [マシンジョウホウ]で表示した情報をご記入ください。 P.5-22

機能フローチャート

メディアセット時
<ローカル>
ﾒﾃﾞｨｱ ｾﾝﾀｸ
ﾛｰﾙ< >ﾘｰﾌ
END
ﾒﾃﾞｨｱ ｹﾝｼｭﾂ ﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
** ﾒﾃﾞｨｱ **
Y=xxxx X=xxxx
<ﾛｰｶﾙ>
ﾊﾊﾞ:xxxxmm
原点設定方法
<ﾛｰｶﾙ>
ﾊﾊﾞ:xxxxmm
ｹﾞﾝﾃﾝ ｾｯﾃｲ
0.0 -------
ENT
ｹﾞﾝﾃﾝ ｾｯﾃｲ
** ｹﾞﾝﾃﾝ **
FUNCTION
ﾒﾃﾞｨｱ ｶｯﾄ
<ENT>
ENTER
ﾒﾃﾞｨｱ ｶｯﾄ ﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
メディア送り補正
ﾘﾓｰﾄ
ﾀｲﾌﾟx x.xxm
FUNCTION
ﾒﾃﾞｨｱｵｸﾘ ﾎｾｲ
0
ENTER
ﾒﾃﾞｨｱｵｸﾘ ﾎｾｲ
0 ▶ 0
ENTER
ﾒﾃﾞｨｱｵｸﾘ ﾎｾｲ
ﾎｿﾞﾝ : ent
ENTER
ﾘﾓｰﾄ
ﾀｲﾌﾟx+ x.xxm
TEST & CLEANING キー : TEST & CLEANING
<ﾛｰｶﾙ>
ﾊﾊﾞ:xxxxmm
TEST & CLEANING
ﾃｽﾄｻｸｽﾞ
<ENT>
ENTER
** ﾃｽﾄｻｸｽﾞ **
TEST & CLEANING
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ
ﾀｲﾌﾟ :ﾉｰﾏﾙ
ENTER
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ﾁｭｳ
**********----------
ﾉｰﾏﾙ, ｿﾌﾄ, ｷｮｳﾘｮｸ
インク残量チェック : ENTER
<ﾛｰｶﾙ>
ﾊﾊﾞ:xxxxmm
ENTER
<ﾛｰｶﾙ> KMCYm c
ｻﾞﾝﾘｮｳ 2 6 7 5 4 3
ニアエンド フル
1 2 3 4 5 6 7 8 9
DATA CLEAR キー : DATA CLEAR
<ﾛｰｶﾙ>
ﾊﾊﾞ:xxxxmm
DATA CLEAR
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ
<ENT>
ENTER
** ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ **
HEATER キー : HEATER
ﾘﾓｰﾄ
ﾀｲﾌﾟx x.xxm
HEATER
<ﾛｰｶﾙ>
ﾊﾊﾞ:xxxxmm
Pre 45℃(47)
Print 40℃(40)
ENTER
Pre 40 ▶ 45℃
Print 50 ▶ 40℃
Pre 40 ▶ 50℃
Print 50 ▶ 45℃
OFF, 20～60℃
FUNCTION キー : FUNCTION
<ﾛｰｶﾙ>
ﾊﾊﾞ:xxxxmm
FUNCTION
FUNCTION
ｾｯﾃｲ <ENT>
ENTER
ｾｯﾃｲ
ｾﾝﾀｸ :ﾀｲﾌﾟ1
ﾀｲﾌﾟ1～ﾀｲﾌﾟ4
ENTER
ﾀｲﾌﾟ *
ﾒﾃﾞｨｱﾎｾｲ <ent>
ENTER
ﾀｲﾌﾟ *
ｻｸｽﾞｶｲｼ :ent
ENTER
ｻｸｽﾞ ﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
ﾀｲﾌﾟ *
ﾎｾｲﾁ = 0
-255～255
ﾀｲﾌﾟ *
ﾋｰﾀｰ <ent>
ENTER
ﾀｲﾌﾟ *
ﾌﾟﾘﾋｰﾄ <ent>
ENTER
ﾀｲﾌﾟ *
ﾌﾟﾘﾋｰﾄ :40℃
OFF, 20～60℃
ﾀｲﾌﾟ *
ﾌﾟﾘﾝﾄﾋｰﾄ <ent>
ENTER
ﾀｲﾌﾟ *
ﾌﾟﾘﾝﾄﾋｰﾄ :55℃
OFF, 20～60℃
ﾀｲﾌﾟ *
°C/°F <ent>
ENTER
ﾀｲﾌﾟ *
°C/°F :°C
°C, °F
ﾀｲﾌﾟ *
ｽﾀﾝﾊﾞｲ <ent>
ENTER
ﾀｲﾌﾟ *
ｽﾀﾝﾊﾞｲ :ﾅｼ
10～90min. (10min 刻み)
ﾀｲﾌﾟ *
OFFｼﾞｶﾝ <ent>
ENTER
ﾀｲﾌﾟ *
OFFｼﾞｶﾝ :ﾅｼ
30, 60, 90min
FUNCTION
続く
続く
POWER
HEATER
TEST & CLEANING
DATA CLEAR
FUNCTION
REMOTE
END
ENTER
INTELLIGENT HEATER
PRINT HEATER
HEAT CONSTANT
PRE HEATER
HEAT CONSTANT
ON
OFF

FUNCTION
ｾｯﾃｲ <ENT>
続き
続く
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾋｰﾀｰ <ent>
続き
ﾀｲﾌﾟ＊
ｻｸｽﾞﾎｳｼｷ <ent>
ﾀｲﾌﾟ＊
ｻｸｽﾞﾋﾝｼﾂ <ent>
ENTER
ﾀｲﾌﾟ＊
ｻｸｽﾞﾋﾝｼﾂ :ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
ﾋｮｳｼﾞｭﾝ, ｷﾚｲ, ﾊﾔｲ
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾎｳｺｳ <ent>
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾎｳｺｳ :ﾀﾝﾎｳｺｳ
ﾀﾝﾎｳｺｳ ｿｳﾎｳｺｳ
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾛｼﾞｶﾙｼｰｸ <ent>
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾛｼﾞｶﾙｼｰｸ :ON
ON, OFF
ﾀｲﾌﾟ＊
ｶｻﾈﾇﾘ <ent>
ﾀｲﾌﾟ＊
ｶｻﾈﾇﾘ :1
1～9回
ﾀｲﾌﾟ＊
ｶﾝｿｳｼﾞｶﾝ <ent>
ﾀｲﾌﾟ＊
ｽｷｬﾝ :0.0s
0.0～9.9s
ﾀｲﾌﾟ＊
ｵｰﾄｶｯﾄ :0s
0～999s
ﾀｲﾌﾟ＊
ｵｰﾄｶｯﾄ <ent>
ﾀｲﾌﾟ＊
ｵｰﾄｶｯﾄ :OFF
OFF, ON
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾕｳｾﾝｼﾞｭﾝｲ <ent>
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾒﾃﾞｨｱﾎｾｲ :ﾎｽﾄ
ﾎｽﾄ, ﾊﾟﾈﾙ
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾋｰﾀｰ :ﾎｽﾄ
ﾎｽﾄ, ﾊﾟﾈﾙ
ﾀｲﾌﾟ＊
ｻｸｽﾞﾎｳｼｷ :ﾎｽﾄ
ﾎｽﾄ, ﾊﾟﾈﾙ
ﾀｲﾌﾟ＊
ｶｻﾈﾇﾘ :ﾎｽﾄ
ﾎｽﾄ, ﾊﾟﾈﾙ
ﾀｲﾌﾟ＊
ｶﾝｿｳｼﾞｶﾝ :ﾎｽﾄ
ﾎｽﾄ, ﾊﾟﾈﾙ
ﾀｲﾌﾟ＊
ｵｰﾄｶｯﾄ :ﾎｽﾄ
ﾎｽﾄ, ﾊﾟﾈﾙ
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾘﾌﾚｯｼｭ :ﾎｽﾄ
ﾎｽﾄ, ﾊﾟﾈﾙ
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾏｰｼﾞﾝ <ent>
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾐｷﾞﾏｰｼﾞﾝ <ent>
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾐｷﾞﾏｰｼﾞﾝ : 0mm
-10～85mm
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾋﾀﾞﾘﾏｰｼﾞﾝ <ent>
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾋﾀﾞﾘﾏｰｼﾞﾝ : 0mm
-10～85mm
ﾀｲﾌﾟ＊
ｶﾗｰﾊﾟﾀｰﾝ <ent>
ﾀｲﾌﾟ＊
ｶﾗｰﾊﾟﾀｰﾝ : OFF
ON, OFF
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾘﾌﾚｯｼｭ <ent>
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾘﾌﾚｯｼｭ : ﾚﾍﾞﾙ3
ﾚﾍﾞﾙ0～ﾚﾍﾞﾙ3
ﾀｲﾌﾟ＊
ﾒﾃﾞｨｱｹﾝｼｭﾂ <ent>
ﾀｲﾌﾟ＊
ｹﾝｼｭﾂ : ｾﾚｸﾄ
ｾﾚｸﾄ, ﾊﾊﾞ
ﾀｲﾌﾟ＊
ｷｭｳﾁｬｸ <ent>
ﾀｲﾌﾟ＊
ｷｭｳﾁｬｸ : ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
ﾋｮｳｼﾞｭﾝ, ﾖﾜｲ
続く

続き
FUNCTION
ｾｯﾃｲ <ENT>
FUNCTION
<ENT>
続き
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｷｭｳﾁｬｸ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾐﾘ/ｲﾝﾁ <ent>
ENTER
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾐﾘ/ｲﾝﾁ :ﾐﾘ
ﾐﾘ, ｲﾝﾁ
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｽﾀﾝﾌﾟ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾓｰﾄﾞ ｽﾀﾝﾌﾟ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾓｰﾄﾞ ｽﾀﾝﾌﾟ :OFF
OFF, ON
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾀｲﾑ ｽﾀﾝﾌﾟ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾀｲﾑ ｽﾀﾝﾌﾟ :OFF
OFF, ON
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｵｰﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｵｰﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ :OFF
OFF, ON
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｾｯﾃｲ ﾘｾｯﾄ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾘｾｯﾄ : ent
FUNCTION
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ <ENT>
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ <ent>
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ﾒﾝﾃ :ｷｬﾘｯｼﾞ ｱｳﾄ
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ｼｭｳﾘｮｳ :ent
ｼｮｷｶ ﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ﾒﾝﾃ :ﾜｲﾊﾟ ｺｳｶﾝ
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ｼｭｳﾘｮｳ :ent
ｼｮｷｶ ﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ﾒﾝﾃ :ﾉｽﾞﾙｾﾝｼﾞｮｳ
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ｼｭｳﾘｮｳ :ent
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ﾎｳﾁｼﾞｶﾝ : 1 min
1 ～ 99min
ｼｮｷｶ ﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ﾒﾝﾃ :ﾊｲﾛ ｾﾝｼﾞｮｳ
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ｼｭｳﾘｮｳ :ent
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ﾒﾝﾃ :ﾎｶﾝ ｾﾝｼﾞｮｳ
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ｼｭｳﾘｮｳ :ent
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ﾎｳﾁ ｼﾞｶﾝ : 1 min
1 ～ 99min
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ｼｭｳﾘｮｳ :ent
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ﾒﾝﾃ :ﾗﾋﾞﾝｸﾞ
ｼﾞｸﾞ ｦ ｾｯﾄ ｼﾃ
ｸﾀﾞｻｲ OK? :ent
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ｼﾞｯｺｳ ｶｲｽｳ : 1
ﾗﾋﾞﾝｸﾞ ﾁｭｳ
ﾁｭｳｼ :end
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
ﾄﾞｯﾄｲﾁﾎｾｲ <ent>
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ﾍｯﾄﾞ ﾀｶｻ :ﾋｸｲ
ﾋｸｲ, ﾀｶｲ
ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃ
ｻｸｽﾞ ｶｲｼ :ent
ｻｸｽﾞ ﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
ﾊﾟﾀｰﾝ1 = 0.0
ﾊﾟﾀｰﾝ1 ～ﾊﾟﾀｰﾝ7
-40.0 ～ 40.0
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
ﾃｲｷ ﾜｲﾋﾟﾝｸﾞ <ent>
ﾃｲｷ ﾜｲﾋﾟﾝｸﾞ
ｽｷｬﾝ ｶｲｽｳ <ent>
ﾃｲｷ ﾜｲﾋﾟﾝｸﾞ
ｽｷｬﾝ ｶｲｽｳ = 0
0 ～ 9990
ﾃｲｷ ﾜｲﾋﾟﾝｸﾞ
ｵﾝﾄﾞ ｻ <ent>
ﾃｲｷ ﾜｲﾋﾟﾝｸﾞ
ｵﾝﾄﾞ ｻ = 20℃
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
ｽﾘｰﾌﾟ CLEAN<ent>
ｽﾘｰﾌﾟ CLEAN
ﾄﾞｳｻ ｶﾝｶｸ = 8h
4, 8, 12, 24, OFF
続く
続く

続き
続き
FUNCTION
メンテナンス <ENT>
メンテナンス
インクジュテン <ent>
ENTER
ジュウテンチュウ
**********------------
FUNCTION
メンテナンス
センジョウ <ent>
センジョウ
カートリッジヲハズス
センジョウチュウ
シバラクオマチクダサイ
センジョウ
センジョウジグヲセット
センジョウチュウ
シバラクオマチクダサイ
センジョウチュウ
シバラクオマチクダサイ
センジョウ
センジョウジグヲセット
センジョウチュウ
シバラクオマチクダサイ
センジョウチュウ
センジョウジグヲハズス
センジョウ
センジョウジグヲハズス
センジョウチュウ
シバラクオマチクダサイ
メンテナンス
センジョウ <ent>
続き
メンテナンス
リスト <ent>
メンテナンス
サクズチュウ
メンテナンス
データダンプ <ent>
メンテナンス
** データダンプ **
メンテナンス
ワイパレベル <ent>
ジュウテンチュウ
ワイパレベル :1/1
1/2, 1/3, 1/4
メンテナンス
ジコクセッテイ <ent>
メンテナンス
DATE=xxxx.xx.xx
メンテナンス
DATE=xxxx.xx.xx
メンテナンス
TIME= xx:xx:00
メンテナンス
TIME= xx:xx:xx
メンテナンス
マシンジョウホウ <ent>
メンテナンス
バージョン <ent>
MAIN Ver xx.xx
I/F Ver xx.xx
メンテナンス
シリアル No <ent>
メンテナンス
S/N ********
メンテナンス
ディーラー No <ent>
メンテナンス
D/N ********
FUNCTION
ハイキファン <ENT>
ハイキファン
テイシタイマー <ent>
ハイキファン
テイシタイマー :120Mim
0-240 (10 分単位), レンゾク
ハイキファン
キリカエ <ent>
ハイキファン
キリカエ :LOW
LOW, OFF
FUNCTION
DISPLAY <ENT>
DISPLAY
English <ent>
Japanese, Portguese,
Italian, Spanish,
French, German

索引

キ

ク

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

テ

ト

ニ

ノ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

マ

ミ

メ

モ

ユ

リ

ロ

ワ

お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、販売店または下記までお願い致します。

株式会社
ミマキエンジニアリング
http://www.mimaki.co.jp

東京支社

TEL 03-5420-8680
東京都品川区北品川5-9-41　TKB御殿山ビル
〒141-0001
FAX　03-5420-8686

大阪支店

TEL 06-6388-8258
大阪府吹田市江坂町1-13-41　明治生命江坂ビル
〒564-0063
FAX　06-6388-8265

札幌営業所

TEL　011-200-5500
札幌市中央区北２条東-1-5-2 サニープリンス
〒060-0032
FAX　011-200-5510

仙台営業所

TEL 022-213-7303
仙台市青葉区上杉1-6-22　サンビル
〒980-0011
FAX　022-213-7305

長野営業所

TEL 0268-64-2281
長野県小県郡東部町大字加沢 1333-3
〒389-0514
FAX　0268-64-2285

金沢営業所

TEL 076-222-5380
金沢市駅西新町2-12-6
〒920-0027
FAX　076-222-5381

名古屋営業所

TEL 052-777-7245
名古屋市名東区上社1-119
〒465-0025
FAX　052-777-7309

広島営業所

TEL 082-876-3103
広島市安佐南区緑井6-10-14　ﾒｲｿﾞﾝ高津屋
〒730-0103
FAX　082-876-3108

福岡営業所

TEL 092-612-1355
福岡市博多区吉塚5-11-15
〒812-0041
FAX　092-612-1356

お問い合わせ時間：　午前１０：００より午後５：００まで
営　業　日　：　月曜日から金曜日まで（祝祭日を除く）